

平成20年度

厚生労働省医政局委託

医療施設経営安定化推進事業

平成19年度 病院経営管理指標

平成21年3月

委託先 みずほ情報総研 株式会社

目 次

I	調査研究の概要	1
1.	調査研究の背景	1
2.	目的	1
3.	実施体制	1
4.	調査方法	2
(1)	調査対象	2
(2)	調査実施方法	3
(3)	調査票	3
(4)	集計方法	3
(5)	グルーピングとその定義	3
II	調査研究結果	8
1.	アンケート回収状況	8
2.	平成19年度病院経営管理指標の概要	8
(1)	施設概況	8
(2)	黒字病院比率	11
(3)	医業利益率	12
3.	医療機能分化・連携に着目した経営状況	15
(1)	地域属性と経営状況	15
(2)	医療機能分化連携と経営状況	22
(3)	一般病棟入院基本料別の経営状況	25
(4)	平均在院日数区分別の経営状況	30
4.	黒字赤字比較に基づく経営改善の方向性	33
(1)	医療法人立病院	33
(2)	自治体病院	36
5.	救急医療等に着目した経営状況	39
(1)	救急実施実態と経営状況	39
(2)	入院経路と経営状況	65
(3)	今後の指標改定に向けた考察	69

I 調査研究の概要

1. 調査研究の背景

病院経営の実態を明らかにし、必要な対策を講じることは、病院経営の安定化に向けて、重要なマネジメントプロセスである。経営の実態を明らかにする“経営分析”は、分析項目（経営指標）の時系列比較や、類似するグループ標準との比較が主たる分析手法となる。「病院経営管理指標」は、病院の“経営分析”における比較基準として広く利用されることを目的として、病院の経営状況を機能や規模、地域性毎に計数的に把握したものであり、平成16年度より、医療法人および公的病院を一元化した指標として作成されてきた。

また、医療提供体制における喫緊の課題である救急医療体制構築に関連して、救急医療を提供する病院の収益性や経営改善の方向性について分析を行うことが、必要であるとの認識がなされており、「病院経営管理指標」においても、新たな指標の開発等を通じ、救急病院における収益性の評価や、収益性に影響を及ぼす要因に関する示唆を得ることが求められている。

加えて、医療機能分化・連携の推進を通じて、良質かつ効率的な医療提供体制の確立が図られるなか、各医療機関は、地域の医療需要や供給体制の実状に応じ、自院の役割・機能を適切に設定し、運営を図ることが重要となっている。医療機能分化・連携の推進に対応した分析属性（グルーピング）の追加により「病院経営管理指標」の病院経営への活用性が高まると期待されている。

2. 目的

経営分析における病院経営管理指標の有用性に鑑み、本調査研究は、「平成19年度病院経営管理指標」の作成を行うことを目的とする。さらに、上記の背景を踏まえ、救急病院における収益性の分析および医療機能分化・連携の推進に対応した経営分析をよりの確に行うための指標の追加等の検討を行うものとする。

3. 実施体制

本調査研究は、企画検討委員会を組成し、企画検討委員会における討議に基づき推進した。なお、企画検討委員会の構成は以下のとおりである。

図表1 企画検討委員会

企画検討委員会委員（有識者）			
石井 孝宜	公認会計士		※企画検討委員会委員長
五十嵐 邦彦	公認会計士		
堺 常雄	聖隷浜松病院 院長（社団法人日本病院会副会長）		
橋本 寿	医療施設近代化センター 事務局長		
宮崎 忠昭	長野赤十字病院 名誉院長（社団法人日本病院会副会長）		
（以上 50音順）			
厚生労働省医政局指導課			
研究班			
掛川 紀美子	みずほ情報総研株式会社	シニアコンサルタント	
森岡 聖晴	みずほ情報総研株式会社	シニアコンサルタント	
山崎 学	みずほ情報総研株式会社	シニアコンサルタント	

企画検討委員会の開催状況は、以下のとおりである。

- ・ 第1回企画検討委員会 平成20年8月28日
- ・ 第2回企画検討委員会 平成21年2月12日

4. 調査方法

(1) 調査対象

医療法人の開設する病院、医療法31条に規定する者の開設する病院および社会保険関係団体の開設する病院全数を対象とし、厚生労働省より提供を受けた対象病院リストに則って調査票を配布した。

具体的な開設者は以下のとおりである。

- 医療法人
- 医療法31条に規定する開設者（公的医療機関）
 - ・ 都道府県
 - ・ 市町村
 - ・ 日本赤十字社
 - ・ 恩賜財団済生会
 - ・ 北海道社会事業協会
 - ・ 全国厚生農業協同組合連合会
 - ・ 国民健康保険団体連合会
- 社会保険関係団体

- ・全国社会保険協会連合会
- ・厚生年金事業振興団
- ・船員保険会
- ・健康保険組合およびその連合会
- ・共済組合およびその連合会
- ・国民健康保険組合

(2) 調査実施方法

調査事務局より、調査対象病院に対し「平成19年度病院経営管理指標調査」調査票を送付し、施設管理者の自計により記入を行った回答票を、返信用封筒により事務局あて郵送回収を行った。調査票の配布にあたっては、調査専用インターネットサイトより電子ファイルのダウンロードによる調査票入手も並行して可能としたが、その場合においても、回収に際しては、印刷した調査票の提出により行った。

(3) 調査票

調査票は、【財務票】および【概況票】より構成している。

【財務票】においては、平成19年度決算書に基づき、貸借対照表および損益計算書の各項目を調査した。記入に際しては、勘定科目については、病院会計準則[改正版](平成16年8月19日医政発第0819001号)の科目により整理の上、記入を依頼した。また、公的医療機関等、開設主体としての会計基準を有する医療機関においては、病院会計準則適用ガイドライン(平成16年9月10日医政発第0910002号)を参照の上、記入を求めた。なお、記入の基礎となる決算書は、平成19年9月30日から平成20年3月31日の間に、決算期末日を含む会計期間の財務諸表とし、その間に決算期末日を含まない施設においては、集計対象から除いた。

【概況票】においては、施設の概況、救急体制、従業者の状況、患者数の状況、診療科目別患者数の状況、委託の状況、処方せんの状況について調査した。

(4) 集計方法

指標の算出にあたっては、各病院の指標を算出し、その指標の平均値を用い(指標の合計値/病院数)、参考として示した財務データおよび非財務データの実数については、項目毎の実数の合計値を病院数で除した数値(実数の合計値/病院数)を用いた。

(5) グループングとその定義

指標の比較に際し、できるだけ同一土俵での比較が行えるよう、様々な分類基準を用いて、病院をグループに分けている。グループングとは、そのグループのことである。分類基準およびそこで用いられる用語の定義は、以下のとおりである。なお、【新規】と記載してある項目については、本年度、新たに追加したグループングである。

1) 病院種別比較

一般病院 : 一般病床が全体の80%以上を占める病院

- 療養型病院 : 療養病床が全体の80%以上を占める病院
- 精神科病院 : 精神病床が全体の80%以上を占める病院
- ケアミックス病院 : 上記以外の病院

2) 開設者別比較

- 医療法人
- 自治体（都道府県・市町村）
- 社会保険関係団体
 - ・全社連 : 全国社会保険協会連合会
 - ・厚生団 : 厚生年金事業振興団
 - ・船員保険 : 船員保険会
 - ・連合会 : 国家公務員共済組合連合会
 - ・公立学校 : 公立学校共済組合
 - ・その他 : 上記「連合会」「公立学校」を除く共済組合および連合会、健康保険組合およびその連合会、国民健康保険組合
- その他公的病院
 - ・日赤 : 日本赤十字社
 - ・済生会 : 社会福祉法人恩賜財団済生会
 - ・北社協 : 北海道社会事業協会
 - ・厚生連 : 厚生農業（医療）協同組合連合会
 - ・国保連 : 国民健康保険団体連合会

3) 病床規模別比較

- 20床以上49床以下（精神科病院のみ20床以上199床以下。以下同じ）
- 50床以上99床以下
- 100床以上199床以下
- 200床以上299床以下
- 300床以上399床以下
- 400床以上

4) 機能別比較

① 専門病院とその他一般（ケアミックス）病院

- 小児科病院 : 小児科・小児外科の入院患者数が入院患者全体の80%以上
- 産婦人科病院 : 産科・婦人科・産婦人科の入院患者数が入院患者全体の80%以上
- 脳神経外科病院 : 脳神経外科の入院患者数が入院患者全体の80%以上
- 眼科病院 : 眼科の入院患者数が入院患者全体の80%以上
- 耳鼻咽喉科病院 : 耳鼻咽喉科の入院患者数が入院患者全体の80%以上
- 上記以外の一般（ケアミックス）病院 : 上記以外の一般（ケアミックス）病院

② 内科系・外科系（医療施設調査の診療科目分類による）

- 内科系 : 診療科目が分類Ⅰのみのもおよび分類ⅠとⅢにまたがるもの
- 外科系 : 診療科目が分類Ⅱのみのもおよび分類ⅡとⅢにまたがるもの

内科系・外科系：診療科目がⅠとⅡにまたがるものおよびⅠとⅡとⅢにまたがるもの

③ 救急医療体制

- 初期救急
- 二次救急
- 三次救急（救命救急センター）
- 上記以外の病院

④ 地域医療支援病院承認の有無別【新規】

- 承認有
- 承認無

⑤ へき地医療拠点病院の指定有無別【新規】

- 指定有
- 指定無

⑥ 臨床研修指定病院指定区分別【新規】

- 指定有（単独・管理型）
- 指定有（協力型）
- 指定無

⑦ 平均在院日数別【新規】

- 14日以内
- 15～30日
- 31～60日
- 61～120日
- 121～180日
- 181～1年
- 1年超

⑧ D P C適用区分別【新規】

- D P C適用病院
- D P C準備病院
- D P C適用なし

⑨ 一般病棟入院基本料別【新規】

- 7対1入院基本料
- 10対1入院基本料
- 13対1入院基本料
- 15対1入院基本料
- 特別入院基本料
- 該当しない

5) 医薬分業別比較

- 医薬分業実施病院 : 院外処方率50%以上
- 医薬分業非実施病院 : 院外処方率50%未満

6) 給食委託別比較【区分変更】

- 全委託
- 一部委託
- 委託無し

7) 地域別比較

- 北海道 : 北海道
- 東北 : 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東 : 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部 : 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
- 近畿 : 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

8) 人口規模（市区町村）【新規】

- 10万人未満
- 10万人以上30万人未満
- 30万人以上50万人未満
- 50万人以上100万人未満
- 100万人以上

9) 二次医療圏の許可病床数合計に占める当該病院の許可病床数の比率【新規】

- 0.5%未満
- 0.5%以上1%未満
- 1%以上3%未満
- 3%以上

10) 黒字・赤字別比較

① 黒字赤字

- 黒字病院 : 当該年度の経常利益が黒字
- 赤字病院 : 当該年度の経常利益が赤字

② 恒常的黒字赤字

- 恒常的黒字病院 : 過去3年間（平成17～19年度）継続して黒字

- 恒常的赤字病院：過去3年間（平成17～19年度）継続して赤字
- 中間病院：過去3年間（平成17～19年度）黒字と赤字が交錯

1 1）設備投資有無別比較

- 設備投資実施病院：平成19年度の固定資産が平成17年度の固定資産より1.5倍以上増加
- 設備投資非実施病院：平成19年度の固定資産が平成17年度の固定資産より減少
- 設備投資中間病院：平成19年度の固定資産が平成17年度の固定資産と同額以上1.5倍未満

II 調査研究結果

1. アンケート回収状況

アンケートの回収率は、医療法人が 21.0%、公的病院が 58.2%であった。回収票の点検、照会を行った結果、有効回答が得られた 1402 施設（医療法人 795 施設、公的病院 607 施設）を対象に集計を行った。

図表2 回収状況

区 分	配布数	回収数	回収率	有 効 回答数	有 効 回答率
医療法人	5,721	1,204	21.0%	795	13.9%
公的病院	1,425	829	58.2%	607	42.6%
計	7,146	2,033	28.4%	1,402	19.6%

2. 平成19年度病院経営管理指標の概要

平成 19 年度病院経営管理指標の詳細については別冊の「平成 19 年度病院経営管理指標」に示し、以下ではその概況を述べる。

(1) 施設概況

1) 病院種別施設数

図表 3 は、本調査の集計対象施設について、開設者別の病院種別施設数¹の構成をみたものである。

医療法人立病院ではケアミックス病院が最も多く、他の開設者区分では、一般病院が最も多くなっている。

¹ 一般病床80%以上を一般病院、療養病床80%以上を療養型病院、精神病床80%以上を精神科病院、その他をケアミックス病院としている。

図表3 病院種別施設数

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
医療法人	232	246	171	146	795
自治体	251	100	4	19	374
社会保険関係団体	37	3	0	0	40
その他公的	151	37	3	2	193
計	671	386	178	167	1,402

2) 病床数

図表4は、開設者別の病院種別平均許可病床数をみたものである。一般病院については、その他公的病院、社会保険関係団体病院、自治体病院、医療法人立病院の順で規模が大きく、その他公的病院と、医療法人立病院では2.9倍の開きがある。ケアミックス病院については、開設者間の規模の開きは一般病院より小さい。療養型病院については、自治体病院、その他公的病院より、医療法人立病院の方が規模が大きい。

図表4 平均許可病床総数（床）

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	135.0	162.6	133.7	238.7
自治体	295.0	175.7	68.8	262.0
社会保険関係団体	317.0	90.3	-	-
その他公的	386.0	191.3	67.0	268.5

さらに、図表5～図表8は、各開設者の許可病床について、病床の種類別内訳をみたものである。ケアミックス病院の病床は、いずれの開設者区分においても一般病床が最も多いが、医療法人立病院においては、一般病床と療養病床の差は僅かである。

図表5 医療法人立病院の許可病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	0.3	0.1	0.0	2.6	132.1	135.0
ケアミックス病院	11.7	0.0	0.2	74.5	76.1	162.6
療養型病院	0.3	0.0	0.0	130.8	2.6	133.7
精神科病院	232.3	0.0	0.0	5.2	1.2	238.7

図表6 自治体病院の許可病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	3.9	1.8	2.7	3.1	283.4	295.0
ケアミックス病院	25.9	0.7	2.7	34.3	112.1	175.7
療養型病院	0.0	0.0	0.0	66.8	2.0	68.8
精神科病院	261.4	0.1	0.5	0.0	0.0	262.0

図表7 社会保険関係団体病院の許可病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	4.8	0.4	0.8	2.1	309.0	317.0
ケアミックス病院	25.0	0.0	0.0	20.0	45.3	90.3
療養型病院	—	—	—	—	—	—
精神科病院	—	—	—	—	—	—

図表8 その他公的病院の病床内訳（床）

区分	精神	感染症	結核	療養	一般	総数
一般病院	5.9	1.2	1.7	4.7	372.5	386.0
ケアミックス病院	21.4	0.5	1.5	43.2	124.7	191.3
療養型病院	0.0	0.0	3.3	63.7	0.0	67.0
精神科病院	268.5	0.0	0.0	0.0	0.0	268.5

(2) 黒字病院比率

1) 黒字病院比率（平成19年度）

有効回答施設 1402 施設のうち、黒字病院²は 836 施設で 59.6%の施設が黒字、残りの 40.4%の施設が赤字である。

開設者別にみると、医療法人立病院では、77.9%の施設が黒字であり、さらに病院種別にみると、精神科病院、療養型病院、ケアミックス病院、一般病院の順に黒字比率が高くなっている。自治体病院では、28.3%の施設が黒字で、3割に満たない状況である。自治体病院でも医療法人立病院と同様に、長期入院施設ほど黒字比率が高くなっている。社会保険関係団体病院では、55.0%の施設が黒字、その他公的病院では、46.1%の施設が黒字である。社会保険関係団体病院およびその他公的病院では、ケアミックス病院と比べ、一般病院の黒字比率が高い。

図表9 黒字病院比率

区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
医療法人	71.6%	74.4%	81.3%	89.7%	77.9%
自治体	25.1%	32.0%	50.0%	47.4%	28.3%
社会保険関係団体	56.8%	33.3%	—	—	55.0%
その他公的	46.4%	45.9%	33.3%	50.0%	46.1%
計	47.7%	60.4%	79.8%	84.4%	59.6%

※表中の網がけは、サンプル数が5以下（以下同じ）。

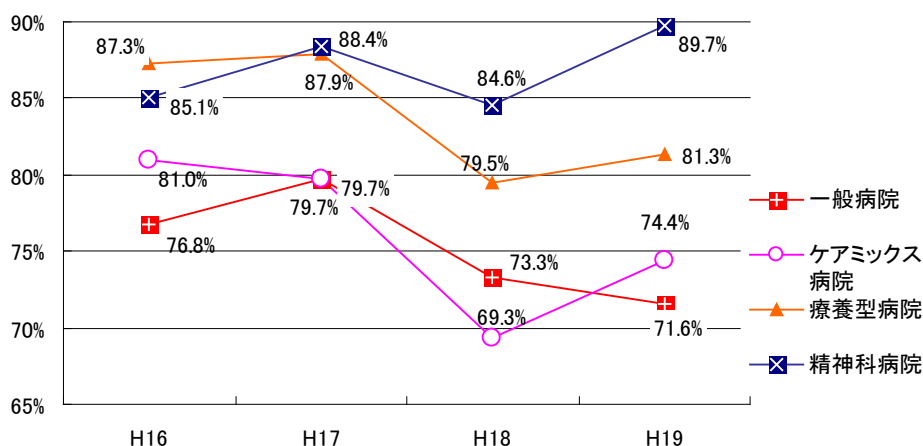
2) 医療法人立病院の黒字病院比率の推移

平成16年度以降の医療法人立病院の黒字病院比率の推移をみると、精神科病院、療養型病院、ケアミックス病院については、平成18年度に黒字病院が減少していたが、平成19年度は増加に転じ、収益力の回復が窺える。中でも精神科病院は過去4年間でも最も高い水準となっている。ケアミックス病院については、黒字病院が減少し続けていたが、平成19年度には、初めて増加に転じている。

一方、一般病院については、平成19年度においても回復がみられず、2期連続で黒字病院が減少している。

² 病院経営管理指標では、経常利益により黒字・赤字のグループ化をしている。

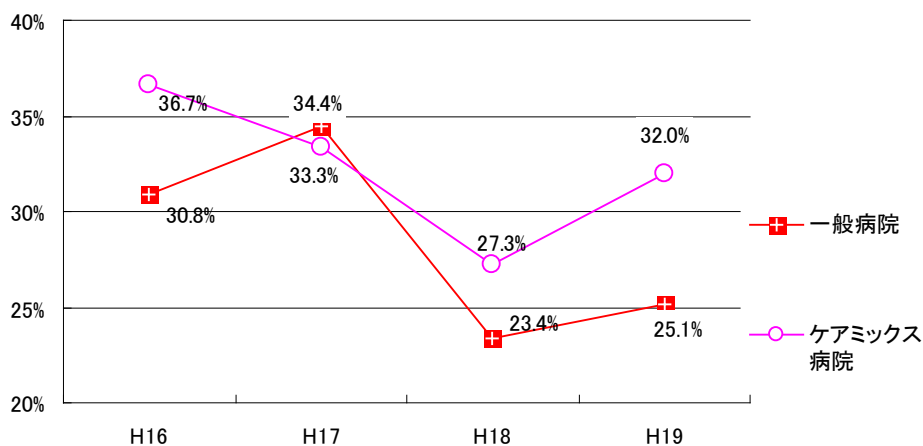
図表10 黒字病院比率推移（医療法人立病院）



3) 自治体病院の黒字病院比率の推移

自治体病院の黒字病院比率の推移をみると一般病院、ケアミックス病院いずれも、平成18年度に黒字病院が減少していたが、平成19年度は増加に転じている。

図表11 黒字病院比率推移（自治体病院）



※ 本グラフには、過去4年間を通じ、一定のサンプルが得られた区分のみ掲載した。

(3) 医業利益率

1) 医業利益率（平成19年度）

病院種別の平均医業利益率をみると、医療法人立病院では、いずれの区分でもプラスであり、療養型病院、精神科病院、ケアミックス病院、一般病院の順に高くなっている。自治体病院では、いずれの病院種別でもマイナスであり、さらに、償却前医業利益率（補正指標）でも、全区分でマイナスの状況である。医業利益率

のマイナス幅については、一般病院のマイナス幅が最も小さく、医療法人における順位とは逆である。社会保険関係団体病院、その他公的病院でも同様に、全区分でマイナスであり、一般病院において、マイナス幅が小さい傾向にある。

図表12 医業利益率

開設者区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	2.0%	2.8%	5.9%	3.6%
自治体	-14.6%	-15.2%	-22.9%	-18.0%
社会保険関係団体	-1.3%	-6.9%	-	-
その他公的	-2.1%	-6.8%	-10.4%	-1.5%

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表13 償却前医業利益率（補正指標）

開設者区分	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
医療法人	5.5%	7.2%	10.0%	8.2%
自治体	-7.8%	-10.2%	-18.0%	-15.4%
社会保険関係団体	3.9%	3.1%	-	-
その他公的	3.8%	-1.4%	-6.1%	2.3%

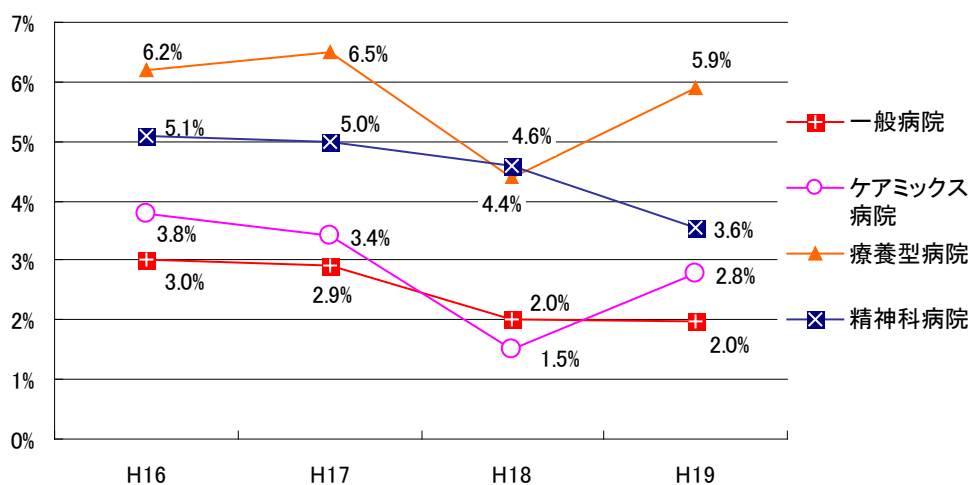
※網がけは、サンプル数が5以下。

2) 医療法人立病院の医業利益率の推移

平成 16 年度以降の医療法人の病院種別の医業利益率の推移をみると、一般病院および精神科病院において、低下傾向が続いている。特に精神科病院は、先にみたとおり、全体における黒字病院の占める割合は過去 4 年間で最高であったが、医業利益率でみると最も低くなっている。

一方、ケアミックス病院と療養型病院については、平成 18 年度に大きく落ち込んだが、平成 19 年度には、やや回復している。

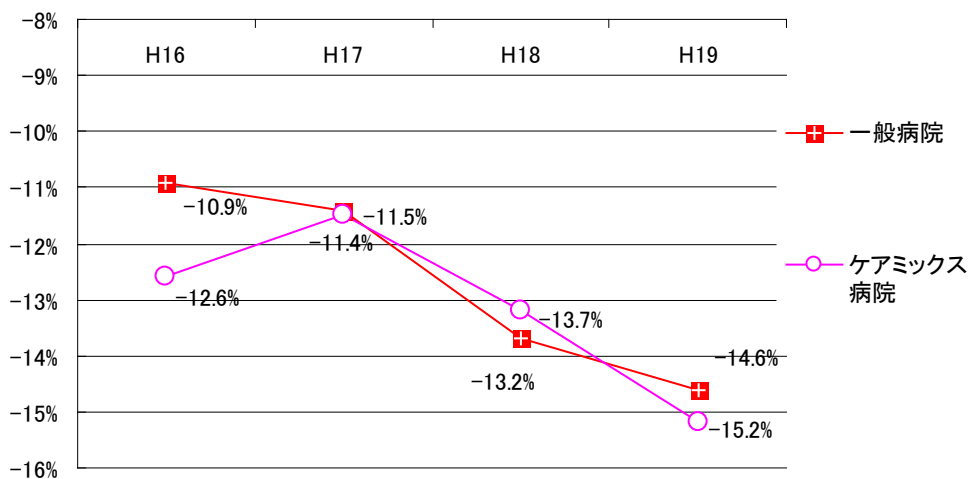
図表14 医業利益率の推移（医療法人立病院）



3) 自治体病院の医業利益率の推移

平成 16 年度以降の自治体病院の病院種別の医業利益率の推移をみると、一般病院は、一貫して低下している。ケアミックス病院については、平成 17 年度に、回復したが、その後は低下が続き、平成 19 年度は一般病院を下回る比率となっている。

図表15 医業利益率の推移（自治体病院）



※ 本グラフには、過去 4 年間を通じ、一定のサンプルが得られた区分のみ掲載した。

3. 医療機能分化・連携に着目した経営状況

(1) 地域属性と経営状況

調査対象病院の所在する市区町村の人口規模別の分布をみると、「10 万人未満」43.2%、「10 万人以上 30 万人未満」23.1%、「30 万人以上 50 万人未満」11.8%、「50 万人以上 100 万人未満」9.7%、「100 万人以上」11.7%となっていた。

これを病院種別にみると、一般病院は 10 万人未満の割合が他よりも少ない一方で、30 万人以上の割合が多くなっていた。逆に、ケアミックス病院は 10 万人未満の割合が多く、他の区分において割合が少なくなっていた。

図表16 所在市区町村の人口規模（施設数）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	総計
10万人未満	251	202	77	76	606
10万～30万人未満	158	76	46	44	324
30万～50万人未満	86	42	22	16	166
50万～100万人未満	69	30	18	19	136
100万人以上	104	35	14	11	164
無回答	3	1	1	1	6
総計	671	386	178	167	1,402

図表17 所在市区町村の人口規模（割合）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	総計
10万人未満	37.4%	52.3%	43.3%	45.5%	43.2%
10万～30万人未満	23.5%	19.7%	25.8%	26.3%	23.1%
30万～50万人未満	12.8%	10.9%	12.4%	9.6%	11.8%
50万～100万人未満	10.3%	7.8%	10.1%	11.4%	9.7%
100万人以上	15.5%	9.1%	7.9%	6.6%	11.7%
無回答	0.4%	0.3%	0.6%	0.6%	0.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

一般病院について開設者区別にみると、医療法人立病院および社会保険関係団体病院は10万人未満の割合が他よりも少ない。

図表18 所在市区町村の人口規模（施設数）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
10万人未満	50	142	6	53	251
10万～30万人未満	47	59	10	42	158
30万～50万人未満	31	27	7	21	86
50万～100万人未満	40	11	3	15	69
100万人以上	63	11	11	19	104
無回答	1.0	1	0	1	3
総 計	232	251	37	151	671

図表19 所在市区町村の人口規模（割合）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
10万人未満	21.6%	56.6%	16.2%	35.1%	37.4%
10万～30万人未満	20.3%	23.5%	27.0%	27.8%	23.5%
30万～50万人未満	13.4%	10.8%	18.9%	13.9%	12.8%
50万～100万人未満	17.2%	4.4%	8.1%	9.9%	10.3%
100万人以上	27.2%	4.4%	29.7%	12.6%	15.5%
無回答	0.4%	0.4%	0.0%	0.7%	0.4%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

ケアミックス病院について開設者区分別にみると、医療法人立病院は10万人未満の割合が他よりも少ない。

図表20 所在市区町村の人口規模（施設数）（ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
10万人未満	89	84	3	26	202
10万～30万人未満	60	10	0	6	76
30万～50万人未満	35	5	0	2	42
50万～100万人未満	28	0	0	2	30
100万人以上	33	1	0	1	35
無回答	1	0	0	0	1
総 計	246	100	3	37	386

図表21 所在市区町村の人口規模（割合）（ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
10万人未満	36.2%	84.0%	100.0%	70.3%	52.3%
10万～30万人未満	24.4%	10.0%	0.0%	16.2%	19.7%
30万～50万人未満	14.2%	5.0%	0.0%	5.4%	10.9%
50万～100万人未満	11.4%	0.0%	0.0%	5.4%	7.8%
100万人以上	13.4%	1.0%	0.0%	2.7%	9.1%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表 22～図表 24 は、一般病院について、所在する市区町村の人口規模別に医業利益率、病床利用率、平均在院日数をみたものである。

医業利益率、病床利用率、平均在院日数のいずれについても、人口規模との間に明らかな相関関係はみられなかった。

図表22 医業利益率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
10万人未満	3.1%	-15.2%	-1.1%	-3.1%
10万～30万人未満	0.4%	-14.0%	-1.3%	-2.0%
30万～50万人未満	2.1%	-10.9%	-2.4%	-1.3%
50万～100万人未満	2.1%	-16.6%	0.2%	1.3%
100万人以上	2.1%	-16.5%	-0.9%	-3.3%

図表23 病床利用率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
10万人未満	80.8%	69.4%	74.2%	75.1%
10万～30万人未満	77.2%	75.4%	79.6%	79.0%
30万～50万人未満	77.3%	79.4%	74.8%	79.4%
50万～100万人未満	77.4%	77.9%	64.6%	82.8%
100万人以上	76.4%	77.8%	68.5%	76.5%

図表24 平均在院日数（日）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
10万人未満	26.6	21.9	16.6	21.3
10万～30万人未満	25.6	16.8	16.5	17.8
30万～50万人未満	21.8	20.8	19.1	16.1
50万～100万人未満	23.6	29.7	14.2	17.8
100万人以上	28.3	23.0	17.3	18.4

図表 25～図表 26 は、所在する市区町村の人口規模別に患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）、外来患者 1 人 1 日当り外来収益をみたものである。

患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）は一般病院において人口規模の大きい地域ほど高くなる傾向がみられるが、反対に療養型病院では、人口規模の小さい地域ほど高くなる傾向がみられる。外来患者 1 人 1 日当り外来収益は療養型病院において、人口規模の小さい地域ほど高くなる傾向がみられる。

図表25 患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）（全開設者）

	一般病院	ケミックス 病 院	療養型病院	精神科病院
10万人未満	31,342	21,506	28,180	15,783
10万～30万人未満	38,344	25,307	18,640	15,502
30万～50万人未満	38,454	25,871	18,453	16,377
50万～100万人未満	40,325	31,414	16,274	14,286
100万人以上	41,389	24,605	16,817	14,431

図表26 外来患者 1 人 1 日当り外来収益（全開設者）

	一般病院	ケミックス 病 院	療養型病院	精神科病院
10万人未満	11,820	8,097	14,311	9,403
10万～30万人未満	11,648	9,999	10,328	9,052
30万～50万人未満	10,510	8,766	7,780	9,593
50万～100万人未満	11,484	12,850	6,748	8,198
100万人以上	10,752	7,331	6,364	8,839

図表 27～図表 28 は、所在する市区町村の人口規模別に医師人件費比率、看護師人件費比率をみたものである。

医師人件費比率は、一般病院において人口規模の小さい地域ほどやや高くなる傾向がみられる。看護師人件費比率は、一般病院、ケアミックス病院において人口規模の小さい地域ほど高くなる傾向がみられる。

図表27 医師人件費比率（全開設者）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
10万人未満	13.6%	13.0%	8.2%	8.8%
10万～30万人未満	13.0%	11.9%	8.2%	7.7%
30万～50万人未満	12.4%	10.5%	8.8%	6.9%
50万～100万人未満	11.8%	11.0%	7.2%	9.2%
100万人以上	12.0%	11.8%	8.4%	8.3%

図表28 看護師人件費比率（全開設者）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
10万人未満	22.0%	22.0%	18.4%	28.6%
10万～30万人未満	20.3%	20.3%	19.0%	29.1%
30万～50万人未満	20.1%	20.6%	18.2%	27.7%
50万～100万人未満	19.8%	18.2%	17.6%	31.0%
100万人以上	19.2%	18.6%	19.1%	32.5%

図表29～図表31は、所在する市区町村の人口規模別に医師1人当たり入院患者数、医師1人当たり外来患者数、外来／入院比をみたものである。

医師1人当たり入院患者数は人口規模との明らかな相関関係はみられなかったものの、医師1人当たり外来患者数は一般病院とケアミックス病院において10万人未満の地域で特に多い。

図表29 医師1人当たり入院患者数（全開設者）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
10万人未満	6.9	12.1	21.4	29.1
10万～30万人未満	5.5	11.6	22.1	27.8
30万～50万人未満	5.5	12.1	20.4	27.6
50万～100万人未満	6.0	11.9	28.4	25.9
100万人以上	5.8	12.6	22.1	27.1

図表30 医師1人当たり外来患者数（全開設者）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
10万人未満	15.0	15.3	8.8	7.1
10万～30万人未満	10.3	11.7	7.9	6.8
30万～50万人未満	10.2	10.6	7.7	6.1
50万～100万人未満	10.4	11.0	4.8	8.0
100万人以上	10.3	10.8	6.1	7.2

図表31 外来／入院比（全開設者）

	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
10万人未満	2.5	1.5	0.7	0.3
10万～30万人未満	2.0	1.4	0.6	0.3
30万～50万人未満	2.0	1.1	0.5	0.5
50万～100万人未満	2.3	1.4	0.4	0.3
100万人以上	2.1	1.0	0.4	0.3

(2) 医療機能分化連携と経営状況

1) 地域医療支援病院

調査対象病院のうち、地域医療支援病院は79施設である。この79施設を病院種別でみると、全て一般病院である。

図表32～図表35は、地域医療支援病院の承認の有無別に、医業利益率、病床利用率、患者1人1日当り入院収益（室料差額除）をみたものである。医業利益率については、いずれの開設者区分においても、「承認有り」の医業利益率の方が高くなっている。

同様に、病床利用率、患者1人1日当り入院収益（室料差額除）ともに「承認有り」が高い。特に、患者1人1日当り入院収益の高さが顕著であるが、その背景として、病院の機能差に加え、平成18年度診療報酬改定で、地域医療支援病院入院診療加算1が引き上げられたことが一因とも考えられる。

図表32 医業利益率（一般病院）

地域医療支援病院	医療法人	自治体	社会保険関係団体	その他の公的
承認有り	3.0%	-13.1%	-0.4%	0.2%
承認無し	1.9%	-14.8%	-1.4%	-2.7%
総計	2.0%	-14.6%	-1.3%	-2.1%

図表33 （参考）施設数（一般病院）

地域医療支援病院	医療法人	自治体	社会保険関係団体	その他の公的
承認有り	17	26	6	30
承認無し	215	225	31	121
総計	232	251	37	151

図表34 病床利用率（一般病院）

地域医療支援病院	医療法人	自治体	社会保険関係団体	その他の公的
承認有り	79.5%	78.2%	75.7%	80.3%
承認無し	77.7%	72.0%	73.1%	77.2%
総計	77.8%	72.6%	73.4%	77.8%

図表35 患者1人1日当り入院収益（室料差額除）（円）（一般病院）

地域医療 支援病院	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
承認有り	41,019	45,802	46,959	50,940
承認無し	35,349	33,710	38,602	36,751
総 計	35,768	34,973	39,762	39,608

2) D P Cの適用状況

調査対象病院のうち、D P C対象病院は 150 施設（10.7%）、D P C準備病院は 223 施設（15.9%）であった。なお、これらの施設には、ケアミックス病院におけるD P C対象病院が9施設、D P C準備病院 40 施設が含まれる。

図表36 D P Cの適用状況（施設数）

	一般病院	ケアミックス 病 院	療養型病院	精神科病院	総 計
D P C対象病院	141	9	0	0	150
D P C準備病院	183	40	0	0	223
その他の病院	347	337	178	167	1,029
総 計	671	386	178	167	1,402

図表37 D P Cの適用状況（割合）

	一般病院	ケアミックス 病 院	療養型病院	精神科病院	総 計
D P C対象病院	21.0%	2.3%	0.0%	0.0%	10.7%
D P C準備病院	27.3%	10.4%	0.0%	0.0%	15.9%
その他の病院	51.7%	87.3%	100.0%	100.0%	73.4%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表 38～図表 42 は、一般病院について、D P C の適用状況別に医業利益率、平均在院日数、病床利用率、患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）をみたものである。

医業利益率については、医療法人立病院では大きな差はみられないものの（D P C 準備病院の医業利益率が最も高い）、その他の開設者区分では D P C 対象病院の医業利益率が最も高くなっている。

平均在院日数、病床利用率については、社会保険関係団体病院で D P C 準備病院の平均在院日数が最も短く、病床利用率が最も高くなっているものの、その他の開設者区分では D P C 対象病院の平均在院日数が最も短く、病床利用率が最も高い。

また、患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）については、いずれの開設者区分でも D P C 対象病院が最も高くなっている。

図表38 （参考）施設数（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
D P C 対象病院	26	35	28	52
D P C 準備病院	42	84	4	53
その他の病院	164	132	5	46
総 計	232	251	37	151

図表39 医業利益率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
D P C 対象病院	1.8%	-8.7%	-0.2%	0.9%
D P C 準備病院	2.3%	-11.5%	-5.9%	-2.8%
その他の病院	1.9%	-18.4%	-3.2%	-4.7%
総 計	2.0%	-14.6%	-1.3%	-2.1%

図表40 平均在院日数（日）（一般病院）

地域医療 支援病院	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
D P C 対象病院	17.6	15.3	15.7	14.6
D P C 準備病院	19.6	16.9	15.3	17.4
その他の病院	28.5	25.1	26.0	25.3
総 計	25.6	21.0	17.1	18.8

図表41 病床利用率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
D P C 対象病院	84.9%	78.1%	72.5%	80.0%
D P C 準備病院	80.8%	76.6%	79.5%	77.8%
その他の病院	75.8%	68.5%	73.3%	75.3%
総 計	77.8%	72.6%	73.4%	77.8%

図表42 患者1人1日当り入院収益（室料差額除）（円）（一般病院）

地域医療 支援病院	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
D P C 対象病院	44,029	43,690	41,139	48,131
D P C 準備病院	38,423	40,119	38,597	39,399
その他の病院	33,754	29,301	33,260	29,788
総 計	35,768	34,973	39,762	39,608

（3）一般病棟入院基本料別の経営状況

調査対象病院のうち一般病院およびケアミックス病院の一般病棟入院基本料をみると、7対1入院基本料は254施設（24.0%）、10対1入院基本料は465施設（44.0%）であった。開設者区別にみると、社会保険関係団体病院およびその他公的病院において7対1入院基本料を算定している病院の割合が多い。

なお、一般病院のみでは7対1入院基本料が215施設（32.0%）、10対1入院基本料が317施設（47.2%）であり、ケアミックス病院では7対1入院基本料が39施設（10.1%）、10対1入院基本料が148施設（38.3%）となっており、一般病院における7対1入院基本料の割合が高い。

図表43 一般病棟入院基本料の算定状況（施設数）（一般病院・ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
7対1	71	73	21	89	254
10対1	189	181	16	79	465
13対1	71	54	3	10	138
15対1	112	31	0	6	149
特別入院基本料	15	8	0	3	26
該当しない	18	4	0	1	23
無回答	2	0	0	0	2
総 計	478	351	40	188	1,057

図表44 一般病棟入院基本料の算定状況（割合）（一般病院・ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
7対1	14.9%	20.8%	52.5%	47.3%	24.0%
10対1	39.5%	51.6%	40.0%	42.0%	44.0%
13対1	14.9%	15.4%	7.5%	5.3%	13.1%
15対1	23.4%	8.8%	0.0%	3.2%	14.1%
特別入院基本料	3.1%	2.3%	0.0%	1.6%	2.5%
該当しない	3.8%	1.1%	0.0%	0.5%	2.2%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表45 一般病棟入院基本料の算定状況（施設数）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
7対1	50	63	21	81	215
10対1	101	141	14	61	317
13対1	31	27	2	5	65
15対1	38	16	0	4	58
特別入院基本料	8	2	0	0	10
該当しない	3	2	0	0	5
無回答	1	0	0	0	1
総 計	232	251	37	151	671

図表46 一般病棟入院基本料の算定状況（割合）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
7対1	21.6%	25.1%	56.8%	53.6%	32.0%
10対1	43.5%	56.2%	37.8%	40.4%	47.2%
13対1	13.4%	10.8%	5.4%	3.3%	9.7%
15対1	16.4%	6.4%	0.0%	2.6%	8.6%
特別入院基本料	3.4%	0.8%	0.0%	0.0%	1.5%
該当しない	1.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.7%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表47 一般病棟入院基本料の算定状況（施設数）（ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
7対1	21	10	0	8	39
10対1	88	40	2	18	148
13対1	40	27	1	5	73
15対1	74	15	0	2	91
特別入院基本料	7	6	0	3	16
該当しない	15	2	0	1	18
無回答	1	0	0	0	1
総 計	246	100	3	37	386

図表48 一般病棟入院基本料の算定状況（割合）（ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
7対1	8.5%	10.0%	0.0%	21.6%	10.1%
10対1	35.8%	40.0%	66.7%	48.6%	38.3%
13対1	16.3%	27.0%	33.3%	13.5%	18.9%
15対1	30.1%	15.0%	0.0%	5.4%	23.6%
特別入院基本料	2.8%	6.0%	0.0%	8.1%	4.1%
該当しない	6.1%	2.0%	0.0%	2.7%	4.7%
無回答	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表 49～図表 50 は、一般病院について、一般病棟入院基本料の区分別に医業利益率、看護師人件費比率をみたものである。

医業利益率についてみると、自治体病院（10 対 1 で最も高い）を除き、いずれの開設者区分でも 7 対 1 入院基本料において医業利益率が最も高くなっている。なお、看護師人件費比率は、いずれの開設者区分においてもそれほどの違いはみられなかった。

図表49 医業利益率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
7対1	3.0%	-14.3%	1.2%	-1.1%
10対1	2.0%	-12.6%	-4.5%	-2.6%
13対1	1.2%	-21.7%	-3.8%	-7.3%
15対1	0.2%	-20.9%	-	-9.2%
特別入院基本料	6.3%	-28.8%	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表50 看護師人件費比率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
7対1	17.8%	25.1%	19.1%	19.8%
10対1	17.6%	23.5%	19.0%	19.6%
13対1	17.2%	25.4%	18.9%	22.7%
15対1	18.4%	24.2%	-	19.6%
特別入院基本料	15.8%	25.1%	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表 51～図表 53 は、一般病院について、平均在院日数、病床利用率、患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）をみたものである。

平均在院日数は看護配置が厚いほど短い傾向にあるものの、病床利用率については顕著な傾向はみられない。また、患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）については看護配置が厚いほど高くなっており、いずれの開設者区分においても 7 対 1 入院基本料において最も高くなっている。

図表51 平均在院日数（日）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
7対1	17.9	16.4	15.1	15.7
10対1	22.0	19.1	18.0	20.5
13対1	28.8	23.0	29.4	27.0
15対1	40.2	43.9	-	48.1
特別入院基本料	22.1	38.9	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表52 病床利用率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
7対1	82.0%	71.1%	75.8%	78.5%
10対1	76.9%	74.6%	68.7%	76.8%
13対1	78.9%	64.1%	83.0%	74.2%
15対1	76.9%	74.6%	-	82.2%
特別入院基本料	62.3%	62.5%	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表53 患者1人1日当り入院収益（室料差額除）（円）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
7対1	46,285	43,956	43,083	45,367
10対1	36,667	34,790	36,121	33,945
13対1	30,898	24,360	32,049	27,038
15対1	23,649	21,531	-	20,517
特別入院基本料	41,776	14,158	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

(4) 平均在院日数区分別の経営状況

調査対象病院のうち一般病院およびケアミックス病院の平均在院日数をみると、「15～30日」が48.9%と最も多く、次いで「31～60日」21.1%、「14日以内」14.9%であった。また、開設者区分でみると、社会保険関係団体病院およびその他公的病院において「14日以内」の割合が多い傾向にあった。また、医療法人立病院において「31～60日」の割合が他の開設者区分よりも多くなっている。

図表54 平均在院日数（施設数）（一般病院・ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
14日以内	58	47	12	41	158
15～30日	162	219	23	113	517
31～60日	138	59	4	22	223
61～120日	62	17	0	8	87
121～180日	28	5	0	1	34
181日～1年	19	2	0	0	21
1年超	8	0	0	1	9
無回答	3	2	1	2	8
総 計	478	351	40	188	1,057

図表55 平均在院日数（割合）（一般病院・ケアミックス病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
14日以内	12.1%	13.4%	30.0%	21.8%	14.9%
15～30日	33.9%	62.4%	57.5%	60.1%	48.9%
31～60日	28.9%	16.8%	10.0%	11.7%	21.1%
61～120日	13.0%	4.8%	0.0%	4.3%	8.2%
121～180日	5.9%	1.4%	0.0%	0.5%	3.2%
181日～1年	4.0%	0.6%	0.0%	0.0%	2.0%
1年超	1.7%	0.0%	0.0%	0.5%	0.9%
無回答	0.6%	0.6%	2.5%	1.1%	0.8%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

次に、一般病院のみの平均在院日数をみると、「15～30日」が62.6%と最も多く、次いで「14日以内」23.2%、「31～60日」10.6%となり、ケアミックス病院を含めたときよりも「14日以内」の割合が増加している。ただし、開設者区分でみると、医療法人立病院において「31～60日」の割合が、他の開設者区分よりも多い傾向は変わっていない。

図表56 平均在院日数（施設数）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
14日以内	57	47	12	40	156
15～30日	119	180	22	99	420
31～60日	43	17	2	9	71
61～120日	8	4	0	1	13
121～180日	3	1	0	0	4
181日～1年	0	0	0	0	0
1年超	0	0	0	0	0
無回答	2	2	1	2	7
総 計	232	251	37	151	671

図表57 平均在院日数（割合）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的	総 計
14日以内	24.6%	18.7%	32.4%	26.5%	23.2%
15～30日	51.3%	71.7%	59.5%	65.6%	62.6%
31～60日	18.5%	6.8%	5.4%	6.0%	10.6%
61～120日	3.4%	1.6%	0.0%	0.7%	1.9%
121～180日	1.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%
181日～1年	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1年超	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.9%	0.8%	2.7%	1.3%	1.0%
総 計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

図表 58～図表 60 は、一般病院について、平均在院日数別に医業利益率、病床利用率、患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）をみたものである。

医業利益率については、医療法人立病院では平均在院日数が長い病院では医業利益率が高いが、公的病院では平均在院日数が短いほど医業利益率が高い。

病床利用率については、医療法人立病院、自治体病院では平均在院日数が長いほど病床利用率が高い傾向がある。また、いずれの開設者区分においても平均在院日数が短いほど患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）が高い傾向にある。

図表58 医業利益率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
14日以内	2.1%	-13.6%	2.3%	-0.4%
15～30日	1.6%	-14.3%	-3.0%	-1.9%
31～60日	1.5%	-17.0%	-2.9%	-8.5%
61～120日	9.8%	-12.0%	-	-9.6%
121～180日	6.2%	-45.2%	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表59 病床利用率（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
14日以内	71.5%	71.5%	77.7%	79.2%
15～30日	79.0%	72.3%	71.0%	77.1%
31～60日	79.0%	74.9%	74.4%	77.0%
61～120日	90.5%	88.2%	-	94.1%
121～180日	96.1%	85.5%	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

図表60 患者 1 人 1 日当り入院収益（室料差額除）（円）（一般病院）

	医療法人	自治体	社会保険 関係団体	その他 公 的
14日以内	44,212	42,117	45,787	47,959
15～30日	35,765	34,658	37,140	37,854
31～60日	26,704	21,437	32,454	24,049
61～120日	29,716	25,210	-	19,239
121～180日	21,539	24,993	-	-

※網がけは、サンプル数が5以下。

4. 黒字赤字比較に基づく経営改善の方向性

ここでは、医療法人立の一般病院および自治体立の一般病院について、黒字病院と赤字病院の指標比較を通じて、赤字病院の経営改善に向けた示唆を得ると同時に、対応策を例示するものとする。

(1) 医療法人立病院

1) 収益基盤

医療法人立の一般病院の集患状況に関する指標³について、黒字病院と赤字病院を比較すると、病床利用率、1床当り1日平均外来患者数ともに、赤字病院で低い状況であり、収益基盤に改善の余地があることが窺える。病床利用率向上に向けては、医療連携の推進等新入院患者増に向けた取り組みとともに、スムーズに新入院患者の受入を行えるような院内の協力体制、両面についての改善が重要となろう。

図表61 病床利用率と1床当り1日平均外来患者数（医療法人立病院・一般病院）

区分	黒字病院	赤字病院	比率差
病床利用率 (%)	79.6	73.2	-6.3
1床当り1日平均外来患者数 (人)	1.8	1.6	-0.2

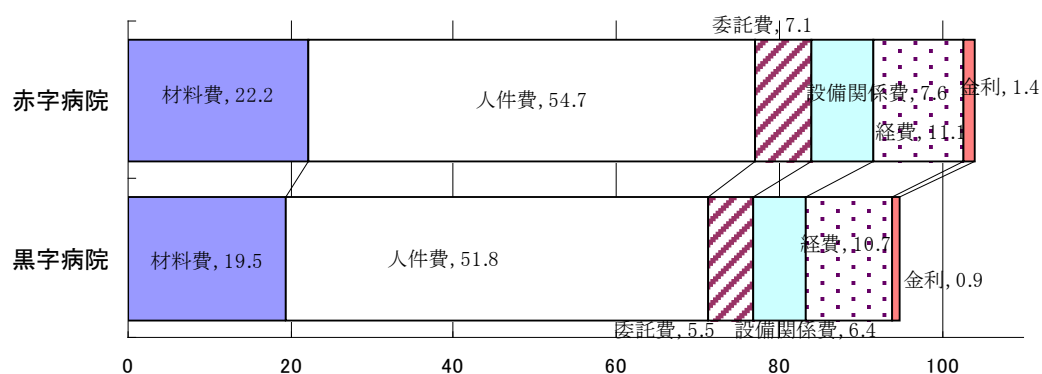
2) 費用分析

医療法人立の一般病院の医業収益に対する各費用比率に関する指標⁴について、黒字病院と赤字病院を比較すると、材料費比率、人件費比率、委託費比率、設備関係費比率、経費比率、金利負担率のいずれにおいても赤字病院の比率が高く、それらの是正による、赤字病院の経営改善の余地が窺える。とりわけ、人件費、材料費、委託費の差が大きく、黒字化に向けて優先度の高い改善項目といえよう。

³ 病院経営管理指標における収益性指標は、収益性（採算性および効率性）を判定する指標（判定指標）と、その判定結果の原因を明らかにする指標（原因指標）から構成されている。さらに原因指標は、i) 経営基盤とii) 判定指標に直結する指標に分けられ、i) 経営基盤は、収益基盤と収益構造の二つに分けて設定されている。収益基盤とは、経営基盤の根幹を成す集患状況をいい、これをみる指標として、病床利用率と1床当り1日平均外来患者数とが位置づけられている（「平成19年度医療施設経営安定化推進事業『病院経営管理指標および中小病院の経営の方向性に関する調査』報告書」より要約）。

⁴ 病院経営管理指標において、原因指標のうち、判定指標に直結する指標として、各費用項目の対医業収益比率が設定されており、原因説明の手がかりの指標とされている。

図表62 医業収益に対する各費用比率（医療法人立病院・一般病院）



人件費比率については、赤字病院が 54.7%、黒字病院が 51.8%で、赤字病院の方が 2.9%高い。

職員 1 人当り人件費をみると年間 266 千円（赤字/黒字＝1.04）の差があり、人件費比率の高さは平均給与が一因と考えられる。平均給与は、給与制度、年齢構成、職種構成の影響を受ける。給与制度の変更には調整期間を要するとともに、それによりもたらされる効果の発現までには時間がかかるが、年功性の強い給与制度の場合、賃金の上昇カーブに一定の歯止めを加えつつもスキルアップや、貢献意欲を維持向上させる仕組づくりが重要となろう。

生産性に関しては、職員 1 人当たり医業収益をみると、赤字病院は黒字病院と比較して年間 155 千円少ない。病床利用率の向上や、病院機能に応じた外来患者の集患を促し、生産性の向上を図ることが必要である。

職員 1 人当りの患者数を比較すると、全職種でみると、入院、外来とも、黒字病院、赤字病院で差はみられない。医師、看護師について取り出してみると、医師 1 人当たり入院患者数については、赤字病院が 0.8 人少なく、看護師 1 人当たり外来患者数が 0.2 人多い。

図表63 人件費比率と関連指標（医療法人立病院・一般病院）

区分	黒字病院	赤字病院	差
人件費比率 (%)	51.8	54.7	2.9
職員 1 人当り人件費 (千円)	6,202	6,468	266
職員 1 人当り医業収益 (千円)	12,188	12,033	-155
医師 1 人当り入院患者数 (人)	7.0	6.2	-0.8
医師 1 人当り外来患者数 (人)	13.3	13.2	-0.0
看護師 1 人当り入院患者数 (人)	1.3	1.3	-0.0

看護師1人当り外来患者数	(人)	2.7	2.9	0.2
職員1人当り入院患者数	(人)	0.6	0.5	-0.0
職員1人当り外来患者数	(人)	1.2	1.2	0.0

材料費比率は、赤字病院が22.2%、黒字病院が19.5%で、赤字病院の方が2.8%⁵高い。医薬品や診療材料等をより安く購入する余地はないか、無駄な使用（不使用、劣化による廃棄等）はないか等の検証が必要である。

材料費の中でも、医薬品比率は、黒字病院と赤字病院の差がさらに大きく、黒字化に向けては、医薬品使用の適正化策が必要と考えられる。

図表64 材料費比率（医療法人立病院・一般病院）

区分		黒字病院	赤字病院	差
材料費比率	(%)	19.5	22.2	2.8
医薬品比率	(%)	10.9	14.8	3.9
(参考) 患者一人1日当たり入院収益 (除室料差額)	(千円)	36.4	34.3	-2.1

⁵ 2.78%を小数第二位で四捨五入し2.8%とした。

(2) 自治体病院

1) 収益基盤

自治体立の一般病院の集患状況に関する指標について、黒字病院と赤字病院を比較すると、病床利用率、1床当り1日平均外来患者数ともに、赤字病院が低い状況であり、収益基盤面での課題が窺える。特に病床利用率は、-8.7%の差があり、収益性の向上に向けて抜本的な対策が必要である。

機能性⁶指標である平均在院日数をみると赤字病院の方が6.4日短く、在院日数短縮に応じた新患受入れ策が必要である。

図表65 病床利用率と1床当り外来患者数（自治体病院・一般病院）

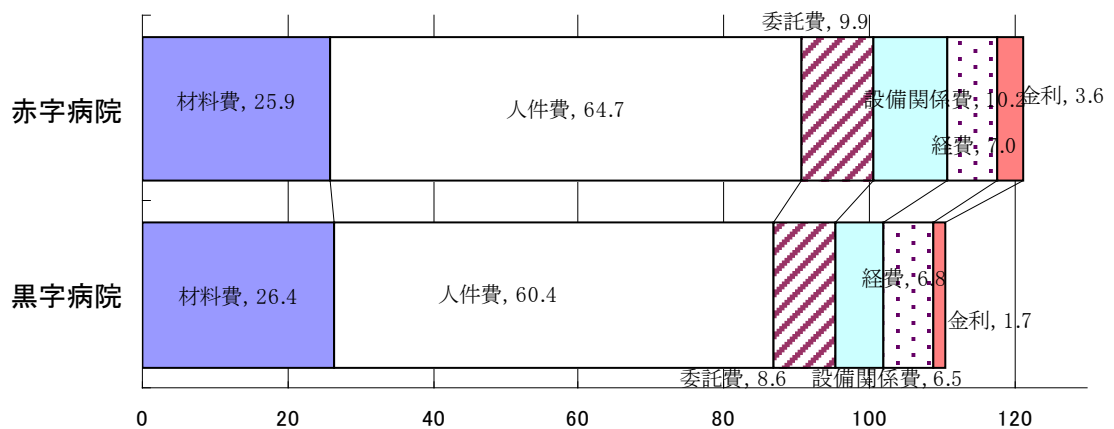
区分	黒字病院	赤字病院	比率差
病床利用率 (%)	79.2	70.5	-8.7
1床当り1日平均外来患者数 (人)	1.5	1.4	-0.1
(参考) 平均在院日数 (日)	25.8	19.4	-6.4

⁶ 病院経営管理指標では、「機能性」、「収益性」、「安全性」の3つの視点で病院経営の評価指標を設定している。「機能性」は「病院が持っている医療機能を数値化した指標によって把握し、機能の状況やレベル・活用度合・医療施設資源の利用状況等を評価する（「病院のための経営分析入門」,石井孝宜,2008）」視点である。

2) 費用分析

自治体立の一般病院の医業収益に対する各費用比率に関する指標について、黒字病院と赤字病院を比較すると、人件費比率、委託費比率、設備関係費比率、経費比率、金利負担率において、赤字病院の比率が高く、とりわけ人件費比率、設備関係費比率の差が目立って大きく、黒字病院と赤字病院の医業利益率の差 8.2%のうち、7.9%が人件費比率と設備関係費比率によるものである。

図表66 医業収益に対する各費用比率（自治体病院・一般病院）



人件費比率については、赤字病院が 64.7%、黒字病院が 60.4%で、赤字病院の方が 4.3%高い。職員 1 人当り人件費をみると、年間 538 千円（赤字/黒字=1.07）の差があり、赤字病院における人件費比率の高さは平均給与が一因であると考えられる。生産性に関しては、職員 1 人当り医業収益をみると、赤字病院は黒字病院と比較して年間 479 千円少なく、人的資源の活用度合が低い。先にみたとおり、自治体立の一般病院においては経営基盤としての集患力に課題が窺えるため、現状の人的資源を前提とするならば集患機能の見直しが必要である。

職員 1 人当りの患者数を比較すると、全職種では入院・外来ともに差がないが、医師、看護師については、入院・外来ともに赤字病院の方が少ない。

図表67 人件費比率と関連指標（自治体病院・一般病院）

区分	黒字病院	赤字病院	差
人件費比率 (%)	60.4	64.7	4.3
職員 1 人当り人件費 (千円)	7,358	7,896	538.3
職員 1 人当り医業収益 (千円)	13,080	12,601	-479.1
医師 1 人当り入院患者数 (人)	6.2	5.9	-0.3
医師 1 人当り外来患者数 (人)	12.5	12.3	-0.2

看護師 1 人当り入院患者数	(人)	1.2	1.1	-0.1
看護師 1 人当り外来患者数	(人)	2.5	2.2	-0.3
職員 1 人当り入院患者数	(人)	0.6	0.6	-0.0
職員 1 人当り外来患者数	(人)	1.2	1.2	-0.0

設備関係費比率については、黒字病院が 6.5%、赤字病院が 10.2%で、赤字病院の方が 3.7%高い。設備関係費比率のうち、減価償却費比率による差が 3.3%と大半を占めている。

図表68 設備関係費比率（自治体病院・一般病院）

区分		黒字病院	赤字病院	差
設備関係費比率	(%)	6.5	10.2	3.7
減価償却費比率	(%)	4.9	8.2	3.3

5. 救急医療等に着目した経営状況

ここでは、平成 19 年度病院経営管理指標調査結果に基づき、救急医療等に着目した経営状況についての試行的な集計を行い、今後の指標改定に向けた示唆を得た。本節では、平成 19 年度病院経営管理指標調査の有効回答施設の中から、救急医療等に関する設問に有効な回答のあった施設に限定して集計を行った。

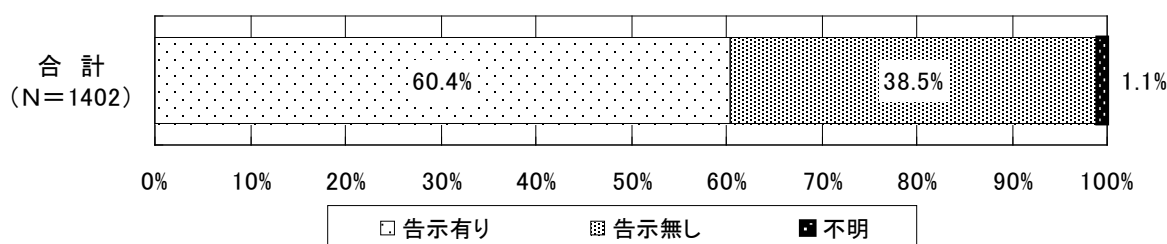
(1) 救急実施実態と経営状況

1) 救急医療の状況

①救急告示制度

有効回答施設の救急告示⁷の状況をみると、「救急告示有り」の施設が 60.4%となっており、平成 17 年 10 月の厚生労働省医療施設調査で示された 46.2%より高い割合となっている。

図表69 告示の有無（平成20年3月現在）

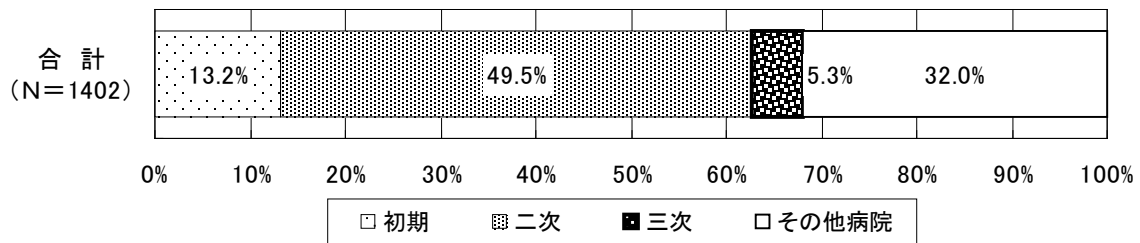


②救急医療体制（初期・二次・三次）

救急医療体制については、救急体制有り（初期、二次、三次計）の施設が 68.0%となっており、平成 17 年 10 月の厚生労働省医療施設調査で示された 60.4%より高い割合となっている。

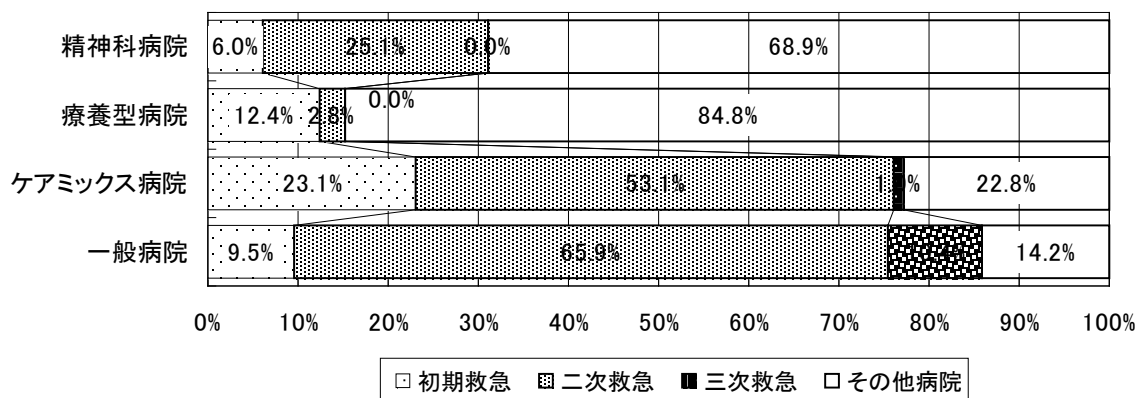
⁷ 救急告示は、昭和39年に創設された、「救急病院・救急診療所の告示制度」であり、救急隊によって搬送される患者を受け入れる医療機関確保という観点から整備された（「救急医療体制基本問題検討会報告書」平成9年12月より）。

図表70 救急体制（平成20年3月現在）



病院種別に救急体制についてみたものが図表71のとおりである。一般病院では、10.4%が三次救急、65.9%が二次救急であった。ケアミックス病院では、一般病院と比べて、初期救急の割合が多いものの、4分の3以上の病院で、救急体制を整備している。療養型病院では15.2%の施設で、精神科病院では、31.1%の施設で救急体制を整備している。

図表71 病院種別救急体制（平成20年3月現在）



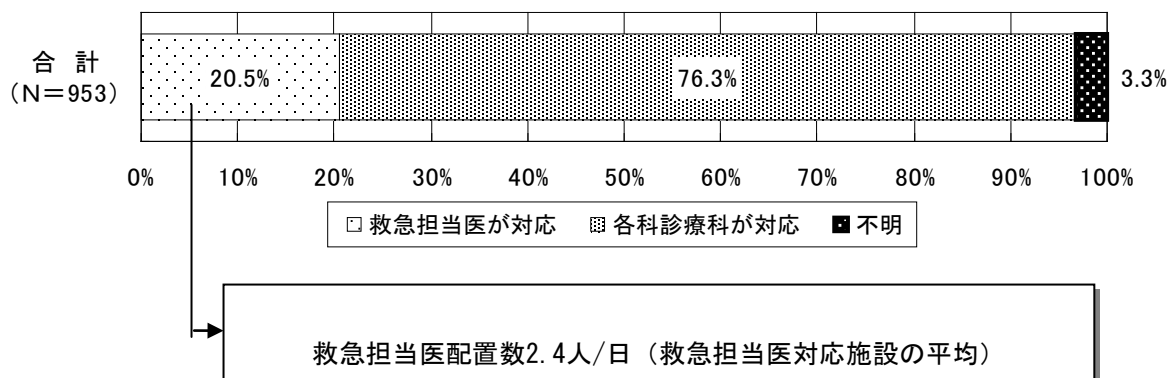
③救急患者の初期診療体制

本調査では、上記でみた、制度的な体制に加え、実態としての救急体制を把握するために、救急患者受け入れ時の初期診療の体制を調査した。

診療時間内においては、救急体制ありの953施設⁸のうち20.5%の施設で救急担当医（専任者）を設け、初期対応にあたっているが、残りは診療各科による対応となっている。救急担当医（専任者）を設けている場合、1施設当りの平均的な救急担当医の配置数は、1日当たり2.4人であった。

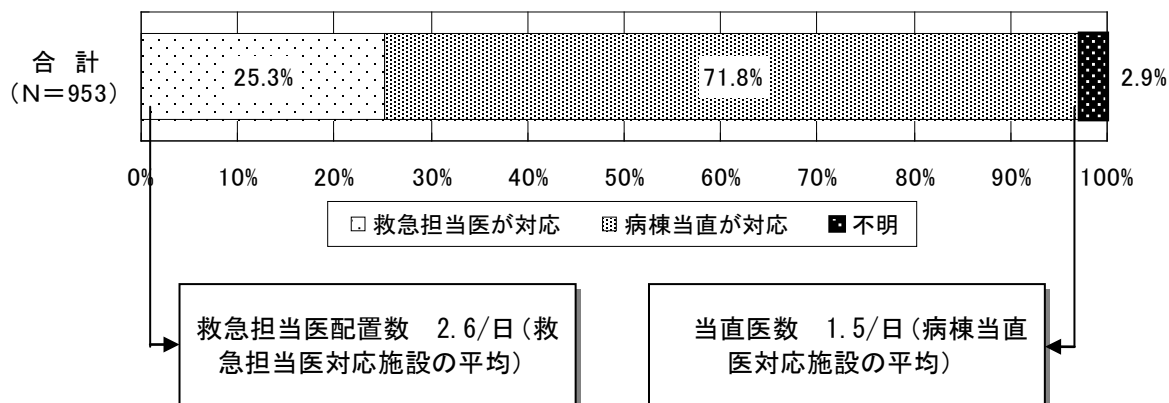
⁸ 救急体制あり（初期、二次、三次計）の施設

図表72 診療時間内の救急初期診療体制（平成19年度）



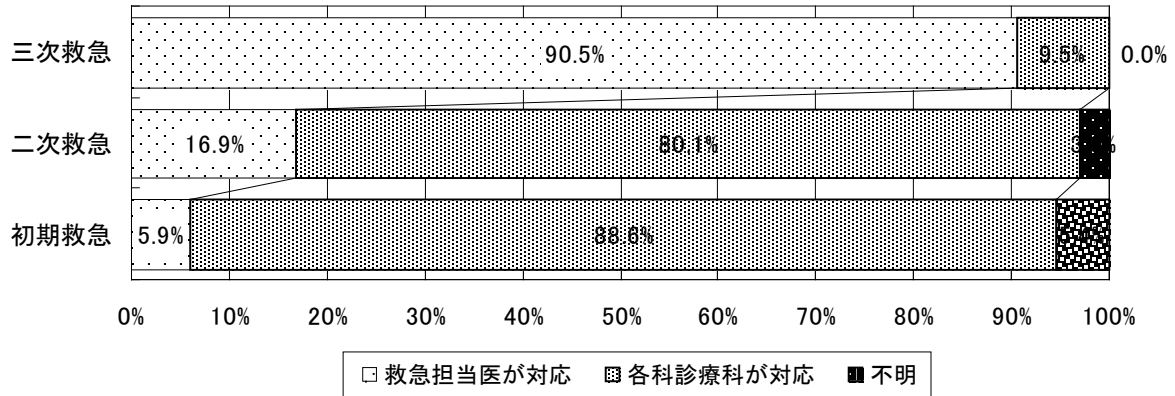
深夜および休祝日を含んだ診療時間外の救急初期対応については、25.3%の施設で救急担当医（専任者）が診療にあたり、残りの施設は、病棟等の当直医のみで対応している。救急担当医（専任者）を設けている場合、1施設当たりの平均的な救急担当医の配置数は、1日当たり2.6人であった。また救急担当医は置かず、病棟当直が対応している施設における病院全体の当直医数は、1日1.5人であった。

図表73 診療時間外（含深・休）の救急初期診療体制（平成19年度）

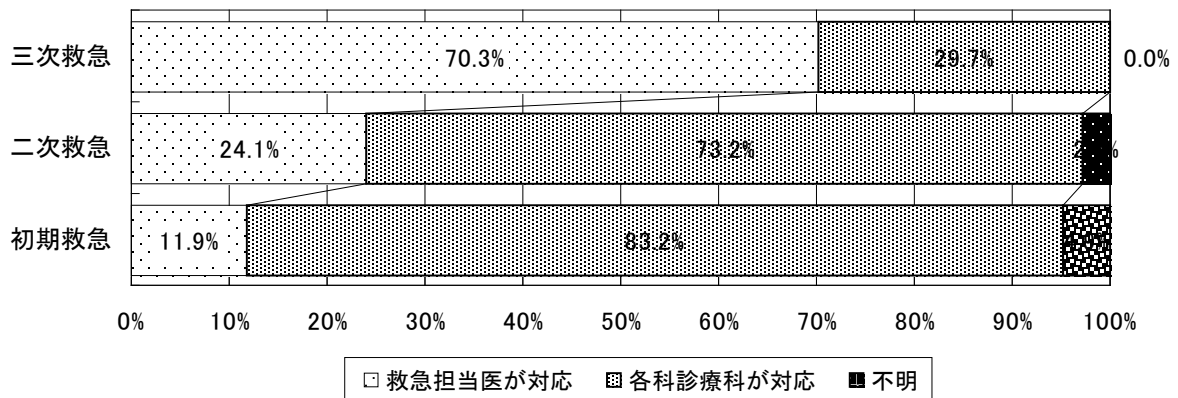


救急医療体制別にみると図表74のとおりである。

図表74 診療時間内の救急初期診療体制（平成19年度）-救急体制別-



図表75 診療時間外（含深・休）の救急初期診療体制（平成19年度）-救急体制別-



2) 救急患者数

本項では、有効回答 1402 施設中、救急患者数を計算する設問に関して有効な回答のあった 1252 施設⁹を対象に集計を行った。

平成 19 年度の 1 日当り救急患者数¹⁰は、図表 76 のとおりである。初期救急においては 3.1 人、二次救急においては 15.6 人、三次救急においては 51.1 人であった。さらに、病床規模を補正した 1 床当り（年間）救急患者数をみると初期救急においては 12.6 人、二次救急においては 22.1 人、三次救急においては 32.0 人であった。

図表76 1日当り救急患者数・全開設者

区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院	総数
診療時間外患者数	3.0	14.4	47.7	0.8	10.4
入院患者数	0.3	1.8	7.1	0.1	1.4
(うち) 救急搬送	0.1	0.8	3.2	0.0	0.6
外来患者数	2.7	12.6	40.7	0.6	9.0
(うち) 救急搬送	0.2	1.4	5.1	0.1	1.0
診療時間内救急搬送患者数	0.1	1.2	3.3	0.0	0.8
救急患者数計	3.1	15.6	51.1	0.8	11.2
(再掲：うち救急搬送)	0.4	3.4	11.7	0.1	2.4

図表77 1床当り(年間)救急患者数・全開設者

	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院	総数
救急患者数計	12.6	22.1	32.0	2.2	15.1

⁹ 時間外患者数に記入があり且つ診療時間内救急搬送患者数(診療時間内の救急搬送患者数＝全救急搬送患者数-診療時間外入院患者のうち救急搬送患者数-診療時間外外来患者のうち救急搬送患者数により算出) ≥ 0 の施設を集計対象とした。

¹⁰ 本調査において、「救急患者数」とは、診療時間外患者数(夜間および休日の受診者を含む)に診療時間内の救急搬送患者数を加えたものとして算出している。

3) 救急に関する経営指標

病院経営管理指標において、機能別比較の一つとして、救急医療機能に着目した初期救急、二次救急、三次救急、その他病院の区分別の指標の集計を行ってきた。

本調査においては新たに、救急医療機能の活動状況を測る指標として、「1日当り救急患者数」、「1床当り救急患者数」、「1日当り救急搬送患者数」、「救急患者入院率」を設定し、集計を行った。加えて、救急医療を提供する病院の収支特性を把握するために、「1床当り損益分岐点医業収益」を設定し、集計を行った。

図表78 救急に関する指標の計算方法

$$1 \text{ 日当り救急患者数} = \text{救急患者数} / 366 \text{ 日}^{11}$$

$$1 \text{ 床当り救急患者数} = \text{救急患者数} / \text{許可病床数}$$

$$1 \text{ 日当り救急搬送患者数} = \text{救急搬送患者数} / 366 \text{ 日}$$

$$\text{救急患者入院率} = \text{診療時間外の患者のうち入院した患者の数}^{12} / \text{救急患者数}$$

$$1 \text{ 床当り損益分岐点医業収益} = \text{損益分岐点医業収益} / \text{許可病床数}$$

$$\text{損益分岐点医業収益} = \text{固定費} \div (1 - \text{変動費} \div \text{医業収益})$$

$$\text{固定費} = \text{給与費} + \text{設備関係費} + \text{給食委託費} + \text{その他委託費} + \text{経費} + \text{その他費用}$$

$$\text{変動費} = \text{材料費} + \text{検査委託費} + \text{控除対象外消費税等負担額}$$

¹¹ 平成19年度は366日であったため366日で除している。

¹² データ収集の制約から、診療時間外の患者で、入院した患者をもって救急入院患者ととらえ、診療時間内に、救急外来を受診した後に入院した患者や救急搬送された入院患者は含んでいない。

① 医業利益率

図表 79、図表 80 は、一般病院について、救急医療体制別に平成 19 年度の医業利益率をみたものである¹³。地域の救急医療体制に参加する医療機関に対しては、救急医療体制に対応した運営費補助金が手当てされるが、医業利益率は、補助金収入等の医業外収益を含まない段階での採算性を示すものである。

医療法人立病院では、その他病院に比べ、初期、二次、三次救急体制の病院で、医業利益率が低く、救急医療体制の整備に伴う採算性への影響が窺える。しかしながら、医業利益率の最も低い二次救急の場合でも、1.4%の医業利益率となっており、一定の地理的条件や運営方法のもとでは、採算性の確保は、不可能ではないことを示す結果といえよう。

一方、自治体病院においては、体制の有無にかかわらず、マイナスの状況である。中でも初期救急病院やその他病院では、マイナス幅が深刻な状況である。

図表 79 医業利益率・一般病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
医療法人	1.8%	1.4%	1.8%	3.5%
自治体	-22.1%	-13.7%	-9.8%	-23.3%
社会保険関係団体	—	-0.8%	—	-4.0%
その他公的	-2.8%	-1.5%	-1.0%	-19.2%

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

ケアミックス病院についても、一般病院と同様の傾向である。

図表 80 医業利益率・ケアミックス病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
医療法人	2.6%	1.5%	—	4.1%
自治体	-20.1%	-12.2%	-9.3%	-39.3%
社会保険関係団体	—	-4.8%	—	-9.5%
その他公的	-20.2%	-0.7%	—	-7.8%

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

¹³ 前項同様、本項では、救急患者数等に有効回答のあった1252施設を集計対象とした。「⑧集計表」に、既存指標に新規指標を加えたものとして、指標の集計値を掲載している。

図表81 (参考) 施設数・病院種別・開設者別

病院種区分	開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
一般病院	医療法人	32	121	2	53
	自治体	17	147	36	23
	社会保険関係団体	—	30	—	2
	その他公的	3	103	28	5
ケアミックス病院	医療法人	45	103	—	70
	自治体	27	56	3	4
	社会保険関係団体	—	1	—	1
	その他公的	8	20	—	5

② 1日当り救急患者数

図表 82 は、一般病院について、1日当り救急患者数をみたものである。初期救急、二次救急、三次救急と高次機能になるに従い、救急患者数が多くなっている。

図表82 1日当り救急患者数・一般病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
医療法人	3.1	11.9	116.1	0.8
自治体	5.9	25.8	40.1	3.2
社会保険関係団体	—	19.2	—	1.2
その他公的	11.5	23.8	58.3	16.5

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

図表 83 は、ケアミックス病院について、1 日当り救急患者数をみたものである。初期救急、二次救急、三次救急と高次機能になるに従い、救急患者数が多くなっている。

図表83 1日当り救急患者数・ケアミックス病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
医療法人	2.4	6.4	—	0.9
自治体	4.0	10.1	71.8	1.1
社会保険関係団体	—	6.7	—	0.6
その他公的	3.1	11.2	—	1.0

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

③ 1床当り救急患者数

図表 84 は、一般病院について、1 床当り年間救急患者数をみたものである。医療法人立病院、その他公的病院については、初期救急、二次救急、三次救急と高次機能になるに従い、救急患者数が多くなっている。一方、自治体病院については、初期救急、二次救急での差はほとんどみられず、さらに三次救急については初期救急、二次救急より救急患者数が少ない。

図表84 1床当り救急患者数・一般病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
医療法人	16.9	26.9	50.7	4.4
自治体	30.2	30.5	25.9	6.6
社会保険関係団体	—	21.4	—	2.8
その他公的	14.2	25.3	38.3	11.9

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

図表 85 は、ケアミックス病院について、1床当り年間救急患者数をみたものである。高次機能になるに従い、救急患者数が多くなっている。

図表85 1床当り救急患者数・ケアミックス病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
医療法人	5.8	13.4	—	3.0
自治体	16.0	18.2	33.3	7.3
社会保険関係団体	—	21.3	—	4.9
その他公的	11.8	15.9	—	4.9

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

④ 1日当り救急搬送患者数

図表 86 は、一般病院について、1日当り救急搬送患者数をみたものである。初期救急、二次救急、三次救急と高次機能になるに従い、救急搬送患者数が多くなっている。

図表86 1日当り救急搬送患者数・一般病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
医療法人	0.4	3.2	21.3	0.1
自治体	0.6	4.9	10.0	0.7
社会保険関係団体	—	4.5	—	0.2
その他公的	1.8	5.6	13.4	3.9

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

図表 87 は、ケアミックス病院について、1日当り救急搬送患者数をみたものである。初期救急、二次救急、三次救急と高次機能になるに従い、救急搬送患者数が多くなっている。

図表87 1日当り救急搬送患者数・ケアミックス病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
医療法人	0.3	1.7	—	0.1
自治体	0.5	1.6	10.0	0.1
社会保険関係団体	—	0.7	—	0.2
その他公的	0.3	1.9	—	0.1

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

⑤救急患者入院率

図表 88、図表 89 は、一般病院とケアミックス病院について、救急患者入院率をみたものである。救急患者の重症度を知る手がかりとして、本指標を設定した。一般病院について初期救急と二次救急を比べると明らかに二次救急の方が、入院に至る割合が高い。三次救急は、自治体病院、その他公的病院においては、二次救急より高くなっている。ケアミックス病院について初期救急と二次救急を比べると一般病院同様に、二次救急の方が入院に至る割合が高いが、医療法人立病院においては、大きな差はみられない。

図表88 救急患者入院率・一般病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
医療法人	8.3	12.4	10.6	11.5
自治体	9.7	11.8	18.5	13.7
社会保険関係団体	—	18.3	—	6.0
その他公的	10.4	13.5	16.4	16.4

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

図表89 救急患者入院率・ケアミックス病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
医療法人	10.2	11.1	—	12.3
自治体	6.2	11.6	10.8	18.2
社会保険関係団体	—	7.1	—	0.0
その他公的	6.3	10.7	—	7.6

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

⑥ 1床当り損益分岐点収益

図表 90、図表 91 は一般病院とケアミックス病院について、1床当り損益分岐点（年間）医業収益をみたものである。

一般病院について、初期救急、二次救急、三次救急を比べると、いずれの開設者区分でも、高次機能になるほど、損益分岐点医業収益が高い。一方、医療法人立病院および自治体病院では、その他病院で、二次救急よりも損益分岐点が高い。

図表90 1床当り損益分岐点（年間）医業収益（百万円）・一般病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
医療法人	15.8	17.6	23.3	18.8
自治体	14.9	18.3	25.2	20.6
社会保険関係団体	—	19.9	—	12.6
その他公的	15.8	18.7	24.0	14.5

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

ケアミックス病院についても、同様に初期救急、二次救急で差がみられるが、一般病院と比べその差は小さい。

図表91 1床当り損益分岐点（年間）医業収益（百万円）・ケアミックス病院（救急医療体制別）

開設者区分	初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
医療法人	10.0	11.8	—	9.6
自治体	12.0	13.0	20.3	10.5
社会保険関係団体	—	11.0	—	14.5
その他公的	11.5	14.7	—	8.3

※表中の網がけは、サンプル数が5以下。

⑦黒字赤字比較

図表92は、医療法人立の一般病院で二次救急体制をとっている病院について、新たに設定した指標の黒字赤字比較を行ったものである。1日当り救急患者数、1床当り救急患者数、1日当り救急搬送患者数、救急患者入院率について、いずれも赤字病院が少ない結果となっており、黒字病院の方が比較的多くの救急患者を受け入れ、救急患者が入院する頻度が高い状況である。1床当り損益分岐点医業収益については、赤字病院の方が高く、医業利益がでにくい構造であるといえよう。

図表92 黒字赤字比較・医療法人立・一般病院（二次救急）

区分	黒字病院 n=85	赤字病院 n=36	差
1日当り救急患者数（人）	12.5	10.6	-1.9
1床当り救急患者数（人）	27.6	25.1	-2.6
1日当り救急搬送患者数（人）	3.4	2.9	-0.6
救急患者入院率	12.8%	11.3%	-1.6%
1床当り損益分岐点医業収益（百万円）	17.2	18.5	1.4

図表 93 は、自治体立の一般病院で二次救急体制をとっている病院について、黒字赤字比較を行ったものである。医療法人立病院とは傾向が異なり、1日当り救急患者数、1床当り救急患者数、1日当り救急搬送患者数、救急患者入院率について、いずれも赤字病院が多い結果となっている。1床当り損益分岐点医業収益は、医療法人立病院同様に赤字病院の方が高くなっている。

図表93 黒字赤字比較・自治体・一般病院（二次救急）

区分	黒字病院 n=28	赤字病院 n=119	差
1日当り救急患者数（人）	18.7	27.4	8.7
1床当り救急患者数（人）	25.5	31.7	6.2
1日当り救急搬送患者数（人）	3.7	5.2	1.5
救急患者入院率	9.7%	12.3%	2.5%
1床当り損益分岐点医業収益(百万円)	18.0	18.4	0.5

⑧集計表

以下は、救急患者数等に有効回答のあった1252施設を対象とした集計表である。

集計対象施設数が異なることから、既存指標について、別冊において掲載している数値とは、若干、異なった集計値となっている。

図表94 病院種別比較（医療法人立病院）

	(病院数)	医療法人			
		一般病院	ケアミックス 病院	療養型病 院	精神科病 院
		(208)	(218)	(156)	(127)
(平均病床数)	(135.5)	(165.3)	(134.6)	(243.1)	
収益性					
医業利益率	(%)	2.0	2.5	5.9	3.9
総資本医業利益率	(%)	1.9	2.6	5.1	3.2
経常利益率	(%)	2.5	2.8	6.1	4.6
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	5.6	7.0	10.1	8.6
病床利用率	(%)	78.4	86.3	93.2	92.2
固定費比率	(%)	60.7	66.1	66.5	70.1
材料費比率	(%)	20.1	15.8	9.3	11.2
医薬品比率	(%)	11.8	9.4	5.2	7.4
人件費比率	(%)	52.8	57.1	58.7	62.6
委託費比率	(%)	6.0	5.7	6.3	4.8
設備関係費比率	(%)	6.9	7.7	6.4	6.3
減価償却費比率	(%)	3.6	4.4	4.2	4.7
経費比率	(%)	10.8	9.9	12.1	10.2
金利負担率	(%)	1.0	1.3	1.4	1.3
総資本回転率	(%)	122.6	102.2	93.6	83.7
固定資産回転率	(%)	233.5	187.1	171.5	163.5
医師人件費比率計	(%)	12.1	11.2	7.9	8.0
常勤医師人件費比率	(%)	8.2	7.6	5.0	6.3
非常勤医師人件費比率	(%)	3.9	3.6	3.0	1.7
看護師人件費比率計	(%)	17.5	18.7	18.4	26.6
常勤看護師人件費比率	(%)	16.5	17.7	17.8	26.1
非常勤看護師人件費比率	(%)	0.9	1.0	0.6	0.5
その他職員人件費比率計	(%)	14.0	17.4	21.1	16.9
常勤その他職員人件費比率	(%)	13.2	16.5	20.2	16.1
非常勤その他職員人件費比率	(%)	0.8	0.9	1.0	0.8
常勤医師1人当り人件費	(千円)	15,219	15,075	13,203	14,813
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	4,898	4,674	4,921	4,780
職員1人当り人件費	(千円)	6,273	5,477	5,049	5,217
職員1人当り医業収益	(千円)	12,105	9,756	8,689	8,379
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	17,659	10,695	7,287	5,347
(参考)変動比率	(%)	21.9	17.2	10.2	11.8
安全性					
自己資本比率	(%)	36.6	33.3	41.2	48.3
固定長期適合率	(%)	87.8	86.4	88.6	74.4
借入金比率	(%)	37.4	50.8	56.8	52.0
償還期間	(年)	9.0	10.9	8.9	7.2
流動比率	(%)	354.6	543.4	545.2	625.6
1床当り固定資産額	(千円)	12,245	8,751	6,929	5,301
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	7.1	8.6	11.7	10.5
機能性					
平均在院日数	(日)	26.4	98.1	339.6	492.9
外来/入院比	(倍)	2.6	1.2	0.5	0.3
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.8	0.9	0.9	0.9
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.7	1.0	0.5	0.2
患者1人1日当り入院収益	(千円)	37.0	24.8	20.3	15.8
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	35.8	24.2	20.0	15.6
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	11.8	8.4	10.5	8.9
医師1人当り入院患者数	(人)	6.9	13.1	22.8	29.3
医師1人当り外来患者数	(人)	13.3	12.0	7.5	6.7
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.3	2.0	3.2	2.9
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.8	2.1	1.3	0.7
職員1人当り入院患者数	(人)	0.6	0.8	1.1	1.4
職員1人当り外来患者数	(人)	1.2	0.8	0.5	0.3
1日当り救急患者数	(人)	8.7	3.8	0.3	0.2
1床当り救急患者数	(人)	19.8	8.5	1.6	0.3
1日当り救急搬送患者数	(人)	2.2	0.9	0.0	0.0
救急患者入院率	(%)	11.5	11.2	3.5	18.6

図表95 病院種別比較（自治体病院）

	(病院数)	自治体			
		一般病院 (223)	ケアミックス 病院 (90)	療養型病 院 (4)	精神科病 院 (15)
(平均病床数)		(306.4)	(183.5)	(68.8)	(256.3)
収益性					
医業利益率	(%)	-14.6	-15.0	-22.9	-22.4
総資本医業利益率	(%)	-8.7	-10.9	-10.7	-16.8
経常利益率	(%)	-7.6	-7.0	-4.7	-10.3
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-7.8	-10.3	-18.0	-15.6
病床利用率	(%)	72.7	72.3	85.0	78.8
固定費比率	(%)	75.6	83.0	88.5	105.6
材料費比率	(%)	26.0	21.7	13.6	16.9
医薬品比率	(%)	15.9	14.4	9.9	13.2
人件費比率	(%)	63.8	73.6	79.7	106.0
委託費比率	(%)	9.7	10.3	11.1	8.8
設備関係費比率	(%)	9.5	9.3	7.5	11.2
減価償却費比率	(%)	7.5	7.7	4.9	10.4
経費比率	(%)	6.8	8.8	10.6	7.2
金利負担率	(%)	3.2	4.0	1.2	6.7
総資本回転率	(%)	74.9	79.3	93.7	55.4
固定資産回転率	(%)	104.1	93.7	183.6	44.3
医師人件費比率計	(%)	14.1	15.0	8.8	10.8
常勤医師人件費比率	(%)	11.4	11.4	6.7	9.9
非常勤医師人件費比率	(%)	2.7	3.6	2.1	0.9
看護師人件費比率計	(%)	24.4	26.5	24.1	50.9
常勤看護師人件費比率	(%)	23.0	25.0	23.6	49.5
非常勤看護師人件費比率	(%)	1.4	1.5	0.5	1.5
その他職員人件費比率計	(%)	14.2	18.7	30.8	21.9
常勤その他職員人件費比率	(%)	12.4	16.1	23.6	19.7
非常勤その他職員人件費比率	(%)	1.8	2.5	7.2	2.1
常勤医師1人当り人件費	(千円)	15,894	17,978	11,860	14,012
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	5,566	5,366	5,072	6,640
職員1人当り人件費	(千円)	7,830	7,265	5,707	8,648
職員1人当り医業収益	(千円)	12,752	10,529	7,137	9,052
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	19,411	12,800	8,652	9,732
(参考)変動比率	(%)	27.4	23.0	14.3	17.7
安全性					
自己資本比率	(%)	69.0	72.9	71.7	71.5
固定長期適合率	(%)	90.7	94.2	85.9	364.3
借入金比率	(%)	21.8	24.3	0.0	24.6
償還期間	(年)	4.3	4.4	0.0	0.0
流動比率	(%)	455.7	578.0	617.0	500.6
1床当り固定資産額	(千円)	24,500	34,516	8,377	17,735
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	3.3	3.4	1.5	6.9
機能性					
平均在院日数	(日)	21.0	41.6	164.8	203.6
外来/入院比	(倍)	2.0	1.8	0.5	0.7
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.7	0.7	0.8	0.7
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.4	1.3	0.4	0.5
患者1人1日当り入院収益	(千円)	35.9	22.8	16.7	15.8
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	35.4	22.5	16.6	15.7
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	10.6	8.9	10.1	9.2
医師1人当り入院患者数	(人)	6.0	9.7	18.9	19.3
医師1人当り外来患者数	(人)	12.2	16.5	7.5	8.5
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.1	1.5	2.7	1.8
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.2	2.7	1.4	1.0
職員1人当り入院患者数	(人)	0.6	0.8	0.9	1.1
職員1人当り外来患者数	(人)	1.2	1.3	0.4	0.6
1日当り救急患者数	(人)	24.2	9.9	0.4	1.0
1床当り救急患者数	(人)	27.3	17.6	2.8	1.5
1日当り救急搬送患者数	(人)	5.0	1.5	0.0	0.2
救急患者入院率	(%)	12.9	10.3	1.3	23.8

図表96 病院種別比較（社会保険関係団体病院）

		社会保険関係団体			
		一般病院 (病院数) (平均病床数)	ケアミックス 病院 (2)	療養型病 院 (0)	精神科病 院 (0)
		(32)	(79.5)	-	-
収益性					
医業利益率	(%)	-1.0	-7.1	-	-
総資本医業利益率	(%)	-1.4	-4.1	-	-
経常利益率	(%)	-0.6	0.2	-	-
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	3.9	6.0	-	-
病床利用率	(%)	74.0	78.4	-	-
固定費比率	(%)	61.1	79.7	-	-
材料費比率	(%)	25.2	13.2	-	-
医薬品比率	(%)	15.4	8.2	-	-
人件費比率	(%)	53.1	65.2	-	-
委託費比率	(%)	7.1	6.4	-	-
設備関係費比率	(%)	7.9	14.5	-	-
減価償却費比率	(%)	4.9	13.1	-	-
経費比率	(%)	6.1	7.1	-	-
金利負担率	(%)	0.2	0.0	-	-
総資本回転率	(%)	134.8	72.2	-	-
固定資産回転率	(%)	419.5	158.1	-	-
医師人件費比率計	(%)	12.2	11.2	-	-
常勤医師人件費比率	(%)	9.2	5.9	-	-
非常勤医師人件費比率	(%)	3.1	5.3	-	-
看護師人件費比率計	(%)	19.3	21.5	-	-
常勤看護師人件費比率	(%)	17.8	15.1	-	-
非常勤看護師人件費比率	(%)	1.5	6.4	-	-
その他職員人件費比率計	(%)	13.0	22.5	-	-
常勤その他職員人件費比率	(%)	11.2	16.0	-	-
非常勤その他職員人件費比率	(%)	1.9	6.5	-	-
常勤医師1人当り人件費	(千円)	12,869	14,888	-	-
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	5,054	5,027	-	-
職員1人当り人件費	(千円)	7,238	5,819	-	-
職員1人当り医業収益	(千円)	13,817	8,929	-	-
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	19,426	12,740	-	-
(参考)変動比率	(%)	26.8	14.3	-	-
安全性					
自己資本比率	(%)	29.0	53.3	-	-
固定長期適合率	(%)	58.0	68.5	-	-
借入金比率	(%)	7.7	0.0	-	-
償還期間	(年)	2.6	0.0	-	-
流動比率	(%)	387.3	714.6	-	-
1床当り固定資産額	(千円)	11,220	22,954	-	-
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	4.5	13.3	-	-
機能性					
平均在院日数	(日)	17.0	41.5	-	-
外来/入院比	(倍)	1.9	2.5	-	-
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.7	0.8	-	-
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.4	1.7	-	-
患者1人1日当り入院収益	(千円)	41.6	20.4	-	-
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	40.5	19.7	-	-
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	12.2	6.3	-	-
医師1人当り入院患者数	(人)	4.9	11.7	-	-
医師1人当り外来患者数	(人)	9.5	21.5	-	-
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.0	1.5	-	-
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.0	3.3	-	-
職員1人当り入院患者数	(人)	0.5	0.6	-	-
職員1人当り外来患者数	(人)	1.0	1.3	-	-
1日当り救急患者数	(人)	18.1	3.6	-	-
1床当り救急患者数	(人)	20.3	13.1	-	-
1日当り救急搬送患者数	(人)	4.2	0.4	-	-
救急患者入院率	(%)	17.6	3.6	-	-

図表97 病院種別比較（その他公的病院）

	その他公的				
	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	
(病院数)	(139)	(33)	(3)	(2)	
(平均病床数)	(386.5)	(186.9)	(67.0)	(268.5)	
収益性					
医業利益率	(%)	-2.0	-6.5	-10.4	-1.5
総資本医業利益率	(%)	-1.1	-5.2	-14.6	-7.7
経常利益率	(%)	-2.2	-1.8	-4.7	-1.3
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	3.9	-1.3	-6.1	2.3
病床利用率	(%)	77.6	77.7	90.4	94.6
固定費比率	(%)	61.9	67.9	76.3	74.1
材料費比率	(%)	28.3	24.5	16.2	13.6
医薬品比率	(%)	18.3	18.4	12.0	9.5
人件費比率	(%)	52.4	59.6	70.4	67.0
委託費比率	(%)	6.3	6.7	9.8	5.8
設備関係費比率	(%)	8.6	7.6	5.0	6.4
減価償却費比率	(%)	6.0	5.2	4.3	3.8
経費比率	(%)	5.6	6.7	6.9	7.2
金利負担率	(%)	0.8	0.7	0.9	0.7
総資本回転率	(%)	85.6	83.7	134.6	122.1
固定資産回転率	(%)	135.1	196.0	209.8	862.3
医師人件費比率計	(%)	12.4	12.4	13.8	8.4
常勤医師人件費比率	(%)	10.2	9.1	12.0	7.2
非常勤医師人件費比率	(%)	2.2	3.3	1.8	1.3
看護師人件費比率計	(%)	19.6	21.0	25.4	30.1
常勤看護師人件費比率	(%)	18.8	20.1	24.8	29.9
非常勤看護師人件費比率	(%)	0.8	0.9	0.6	0.2
その他職員人件費比率計	(%)	11.8	16.6	20.2	16.4
常勤その他職員人件費比率	(%)	10.8	14.1	19.4	15.8
非常勤その他職員人件費比率	(%)	1.0	2.4	0.8	0.7
常勤医師1人当り人件費	(千円)	14,633	17,890	25,101	18,580
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	5,192	4,921	6,050	5,390
職員1人当り人件費	(千円)	7,223	6,547	6,694	6,717
職員1人当り医業収益	(千円)	14,117	11,441	9,600	10,086
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	19,562	12,979	11,238	6,405
(参考)変動比率	(%)	29.5	26.0	18.0	14.8
安全性					
自己資本比率	(%)	22.7	8.8	58.9	-10.2
固定長期適合率	(%)	97.2	86.5	97.7	55.1
借入金比率	(%)	49.3	46.6	2.8	45.3
償還期間	(年)	8.1	3.8	0.0	12.3
流動比率	(%)	240.4	280.9	477.7	205.4
1床当り固定資産額	(千円)	18,377	10,707	8,739	4,720
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	4.3	4.1	0.6	3.2
機能性					
平均在院日数	(日)	18.6	55.0	104.6	235.2
外来/入院比	(倍)	1.9	1.5	1.8	0.4
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.8	0.8	0.9	0.9
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.5	1.1	1.7	0.4
患者1人1日当り入院収益	(千円)	40.5	26.1	15.6	14.5
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	39.5	25.6	15.5	14.1
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	12.1	10.5	6.4	8.4
医師1人当り入院患者数	(人)	5.6	10.9	19.6	32.7
医師1人当り外来患者数	(人)	10.5	13.6	21.8	13.2
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.1	1.6	2.5	2.7
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.1	2.1	3.4	1.1
職員1人当り入院患者数	(人)	0.6	0.8	1.0	1.5
職員1人当り外来患者数	(人)	1.1	1.0	1.4	0.6
1日当り救急患者数	(人)	30.2	7.7	1.6	0.4
1床当り救急患者数	(人)	27.2	13.3	12.9	0.6
1日当り救急搬送患者数	(人)	7.0	1.2	0.2	0.1
救急患者入院率	(%)	14.1	9.1	4.5	23.0

図表98 救急体制別比較・一般病院（医療法人立病院）

		一般病院			
		医療法人			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
(病院数)	(32)	(121)	(2)	(53)	
(平均病床数)	(81.0)	(164.4)	(912.5)	(73.1)	
収益性					
医業利益率	(%)	1.8	1.4	1.8	3.5
総資本医業利益率	(%)	1.1	1.3	1.7	3.6
経常利益率	(%)	2.3	1.7	2.5	4.5
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	5.7	4.9	9.9	6.9
病床利用率	(%)	77.4	81.3	80.1	72.3
固定費比率	(%)	58.7	61.2	65.7	60.3
材料費比率	(%)	19.2	20.9	21.5	18.7
医薬品比率	(%)	12.5	11.6	12.1	11.7
人件費比率	(%)	52.5	53.0	53.7	52.3
委託費比率	(%)	6.1	5.8	4.6	6.2
設備関係費比率	(%)	5.4	7.1	10.9	7.1
減価償却費比率	(%)	3.9	3.5	8.1	3.4
経費比率	(%)	12.7	10.3	5.4	11.0
金利負担率	(%)	0.8	1.2	1.1	0.9
総資本回転率	(%)	132.0	123.0	85.5	117.2
固定資産回転率	(%)	236.5	231.4	132.2	240.5
医師人件費比率計	(%)	10.7	13.2	14.2	10.4
常勤医師人件費比率	(%)	7.2	9.0	12.8	6.9
非常勤医師人件費比率	(%)	3.5	4.2	1.4	3.5
看護師人件費比率計	(%)	18.1	17.7	16.9	16.7
常勤看護師人件費比率	(%)	17.2	16.6	15.9	16.0
非常勤看護師人件費比率	(%)	1.0	1.0	1.1	0.7
その他職員人件費比率計	(%)	13.8	13.9	15.1	14.3
常勤その他職員人件費比率	(%)	13.1	13.1	13.9	13.5
非常勤その他職員人件費比率	(%)	0.7	0.7	1.2	0.8
常勤医師1人当り人件費	(千円)	13,033	16,462	14,721	13,661
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	4,688	4,963	4,704	4,883
職員1人当り人件費	(千円)	5,851	6,288	6,395	6,495
職員1人当り医業収益	(千円)	11,454	12,074	11,904	12,587
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	15,797	17,565	23,296	18,787
(参考)変動比率	(%)	21.2	23.0	23.4	20.0
安全性					
自己資本比率	(%)	47.5	29.9	38.6	45.6
固定長期適合率	(%)	75.3	94.7	83.5	79.9
借入金比率	(%)	30.4	40.0	45.7	35.4
償還期間	(年)	5.5	10.2	7.3	8.5
流動比率	(%)	311.9	254.2	183.9	615.9
1床当り固定資産額	(千円)	9,515	11,654	20,750	14,924
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	7.0	6.4	11.7	8.8
機能性					
平均在院日数	(日)	28.2	22.6	16.4	34.4
外来/入院比	(倍)	2.6	2.1	1.3	3.9
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.8	0.8	0.8	0.7
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.8	1.7	1.0	1.8
患者1人1日当り入院収益	(千円)	29.5	37.1	51.6	40.7
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	28.5	35.9	50.9	39.4
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	10.4	9.8	15.5	17.3
医師1人当り入院患者数	(人)	6.9	6.6	3.7	7.6
医師1人当り外来患者数	(人)	15.0	12.5	4.7	14.3
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.3	1.3	0.9	1.4
看護師1人当り外来患者数	(人)	3.2	2.6	1.2	2.9
職員1人当り入院患者数	(人)	0.6	0.6	0.4	0.6
職員1人当り外来患者数	(人)	1.4	1.1	0.5	1.3
1日当り救急患者数	(人)	3.1	11.9	116.1	0.8
1床当り救急患者数	(人)	16.9	26.9	50.7	4.4
1日当り救急搬送患者数	(人)	0.4	3.2	21.3	0.1
救急患者入院率	(%)	8.3	12.4	10.6	11.5

図表99 救急体制別比較・一般病院（自治体病院）

	(病院数)	一般病院			
		自治体			
		初期救急 (17)	二次救急 (147)	三次救急 (36)	その他 病院 (23)
(平均病床数)	(82.6)	(292.5)	(548.3)	(182.0)	
収益性					
医業利益率	(%)	-22.1	-13.7	-9.8	-23.3
総資本医業利益率	(%)	-13.7	-8.5	-6.8	-10.1
経常利益率	(%)	-11.4	-8.3	-3.1	-7.4
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-15.6	-6.7	-3.8	-16.0
病床利用率	(%)	63.2	71.3	80.3	76.5
固定費比率	(%)	82.3	75.6	68.9	82.0
材料費比率	(%)	23.9	25.2	30.6	24.8
医薬品比率	(%)	16.5	15.5	17.3	16.2
人件費比率	(%)	75.6	62.9	57.0	71.9
委託費比率	(%)	9.4	9.5	8.7	12.8
設備関係費比率	(%)	8.0	9.6	9.0	10.6
減価償却費比率	(%)	7.0	7.7	7.5	6.9
経費比率	(%)	7.6	6.7	5.7	8.4
金利負担率	(%)	3.3	3.2	3.0	3.5
総資本回転率	(%)	76.1	68.6	61.9	135.0
固定資産回転率	(%)	179.8	91.2	83.1	175.2
医師人件費比率計	(%)	19.3	13.8	13.2	14.2
常勤医師人件費比率	(%)	14.4	11.2	10.9	11.4
非常勤医師人件費比率	(%)	5.0	2.6	2.3	2.8
看護師人件費比率計	(%)	25.4	24.3	23.4	26.2
常勤看護師人件費比率	(%)	23.1	22.9	22.2	25.2
非常勤看護師人件費比率	(%)	2.3	1.4	1.1	1.0
その他職員人件費比率計	(%)	18.0	13.8	10.1	20.0
常勤その他職員人件費比率	(%)	14.2	12.1	9.0	17.9
非常勤その他職員人件費比率	(%)	3.8	1.7	1.1	2.0
常勤医師1人当り人件費	(千円)	21,690	15,811	13,425	16,251
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	5,229	5,557	5,832	5,454
職員1人当り人件費	(千円)	7,528	7,821	8,320	7,342
職員1人当り医業収益	(千円)	10,313	12,753	15,040	10,964
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	14,865	18,344	25,175	20,565
(参考)変動比率	(%)	25.4	26.6	32.2	26.3
安全性					
自己資本比率	(%)	61.3	69.6	72.7	65.0
固定長期適合率	(%)	109.7	91.0	85.7	83.3
借入金比率	(%)	17.3	21.4	29.7	14.5
償還期間	(年)	1.9	4.8	3.1	4.4
流動比率	(%)	921.7	424.4	339.7	492.9
1床当り固定資産額	(千円)	18,240	23,170	29,869	29,225
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	-1.2	2.7	7.4	4.6
機能性					
平均在院日数	(日)	22.7	18.3	16.4	44.5
外来/入院比	(倍)	3.0	2.1	1.6	1.5
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.6	0.7	0.8	0.8
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.9	1.5	1.3	1.1
患者1人1日当り入院収益	(千円)	22.8	35.0	48.3	32.2
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	22.4	34.4	47.7	31.7
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	10.3	10.1	12.1	11.3
医師1人当り入院患者数	(人)	7.4	6.1	4.0	7.5
医師1人当り外来患者数	(人)	20.5	13.0	6.3	10.1
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.2	1.1	1.0	1.2
看護師1人当り外来患者数	(人)	3.3	2.3	1.5	1.8
職員1人当り入院患者数	(人)	0.6	0.6	0.6	0.6
職員1人当り外来患者数	(人)	1.6	1.2	0.9	0.9
1日当り救急患者数	(人)	5.9	25.8	40.1	3.2
1床当り救急患者数	(人)	30.2	30.5	25.9	6.6
1日当り救急搬送患者数	(人)	0.6	4.9	10.0	0.7
救急患者入院率	(%)	9.7	11.8	18.5	13.7

図表100 救急体制別比較・一般病院（社会保険関係団体病院）

	(病院数)	一般病院			
		社会保険関係団体			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
(平均病床数)	(0)	(30)	(0)	(2)	
		-	(336.7)	-	(157.5)
収益性					
医業利益率	(%)	-	-0.8	-	-4.0
総資本医業利益率	(%)	-	-1.2	-	-4.2
経常利益率	(%)	-	-0.4	-	-3.4
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-	4.2	-	-1.0
病床利用率	(%)	-	75.1	-	57.2
固定費比率	(%)	-	60.5	-	70.9
材料費比率	(%)	-	25.4	-	21.7
医薬品比率	(%)	-	15.5	-	13.6
人件費比率	(%)	-	52.4	-	63.3
委託費比率	(%)	-	7.2	-	5.6
設備関係費比率	(%)	-	7.9	-	7.6
減価償却費比率	(%)	-	5.1	-	3.0
経費比率	(%)	-	6.2	-	4.9
金利負担率	(%)	-	0.2	-	0.1
総資本回転率	(%)	-	135.1	-	129.3
固定資産回転率	(%)	-	429.1	-	131.7
医師人件費比率計	(%)	-	12.4	-	10.0
常勤医師人件費比率	(%)	-	9.3	-	6.8
非常勤医師人件費比率	(%)	-	3.1	-	3.3
看護師人件費比率計	(%)	-	18.9	-	24.3
常勤看護師人件費比率	(%)	-	17.4	-	23.5
非常勤看護師人件費比率	(%)	-	1.5	-	0.8
その他職員人件費比率計	(%)	-	12.7	-	17.0
常勤その他職員人件費比率	(%)	-	10.9	-	14.6
非常勤その他職員人件費比率	(%)	-	1.8	-	2.4
常勤医師1人当り人件費	(千円)	-	12,790	-	14,045
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	-	5,000	-	5,874
職員1人当り人件費	(千円)	-	7,255	-	6,986
職員1人当り医業収益	(千円)	-	14,001	-	11,054
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	-	19,879	-	12,634
(参考)変動比率	(%)	-	26.9	-	25.0
安全性					
自己資本比率	(%)	-	29.0	-	29.3
固定長期適合率	(%)	-	58.9	-	45.7
借入金比率	(%)	-	8.1	-	2.0
償還期間	(年)	-	2.7	-	0.0
流動比率	(%)	-	381.2	-	478.9
1床当り固定資産額	(千円)	-	11,693	-	4,121
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	-	4.8	-	-0.4
機能性					
平均在院日数	(日)	-	16.2	-	28.8
外来/入院比	(倍)	-	1.9	-	1.8
1床当り1日平均入院患者数	(人)	-	0.8	-	0.6
1床当り1日平均外来患者数	(人)	-	1.4	-	0.9
患者1人1日当り入院収益	(千円)	-	42.2	-	33.1
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	-	41.1	-	31.0
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	-	12.2	-	11.7
医師1人当り入院患者数	(人)	-	4.8	-	7.6
医師1人当り外来患者数	(人)	-	9.4	-	11.9
看護師1人当り入院患者数	(人)	-	1.0	-	1.1
看護師1人当り外来患者数	(人)	-	2.0	-	1.9
職員1人当り入院患者数	(人)	-	0.5	-	0.5
職員1人当り外来患者数	(人)	-	1.0	-	0.9
1日当り救急患者数	(人)	-	19.2	-	1.2
1床当り救急患者数	(人)	-	21.4	-	2.8
1日当り救急搬送患者数	(人)	-	4.5	-	0.2
救急患者入院率	(%)	-	18.3	-	6.0

図表101 救急体制別比較・一般病院（その他公的病院）

	(病院数)	一般病院			
		その他公的			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
(平均病床数)	(3)	(103)	(28)	(5)	
		(227.7)	(340.1)	(590.2)	(297.4)
収益性					
医業利益率	(%)	-2.8	-1.5	-1.0	-19.2
総資本医業利益率	(%)	-1.4	-1.1	-0.3	-7.3
経常利益率	(%)	-3.4	-1.6	-1.3	-20.6
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	6.1	4.4	5.2	-13.4
病床利用率	(%)	77.9	77.6	80.4	60.5
固定費比率	(%)	67.4	61.8	59.0	77.0
材料費比率	(%)	22.5	27.9	30.8	25.1
医薬品比率	(%)	14.5	18.2	18.7	19.1
人件費比率	(%)	54.2	52.6	49.5	64.6
委託費比率	(%)	6.7	6.1	6.1	10.8
設備関係費比率	(%)	12.0	8.3	8.8	10.6
減価償却費比率	(%)	8.9	5.9	6.2	5.8
経費比率	(%)	5.1	5.8	5.0	6.9
金利負担率	(%)	1.2	0.8	0.7	1.8
総資本回転率	(%)	42.8	85.9	84.7	110.2
固定資産回転率	(%)	59.8	136.4	123.0	220.5
医師人件費比率計	(%)	11.5	12.5	12.3	11.9
常勤医師人件費比率	(%)	9.5	10.3	10.5	7.4
非常勤医師人件費比率	(%)	2.1	2.3	1.8	4.6
看護師人件費比率計	(%)	20.5	19.6	19.3	22.5
常勤看護師人件費比率	(%)	20.1	18.7	18.7	21.3
非常勤看護師人件費比率	(%)	0.5	0.9	0.6	1.2
その他職員人件費比率計	(%)	12.9	11.9	9.8	18.8
常勤その他職員人件費比率	(%)	12.0	10.9	9.1	17.5
非常勤その他職員人件費比率	(%)	0.9	1.0	0.8	1.4
常勤医師1人当り人件費	(千円)	17,312	15,208	12,302	14,234
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	4,895	5,190	5,223	5,231
職員1人当り人件費	(千円)	6,510	7,169	7,505	7,203
職員1人当り医業収益	(千円)	12,258	13,956	15,332	11,753
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	15,838	18,712	23,990	14,511
(参考)変動比率	(%)	23.8	29.2	31.6	26.4
安全性					
自己資本比率	(%)	18.2	23.1	29.7	-23.8
固定長期適合率	(%)	82.1	98.7	89.7	124.4
借入金比率	(%)	140.8	48.1	39.4	76.8
償還期間	(年)	15.7	8.6	6.0	3.4
流動比率	(%)	501.7	251.2	193.9	120.4
1床当り固定資産額	(千円)	24,653	17,200	22,593	15,249
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	6.7	4.6	5.7	-13.0
機能性					
平均在院日数	(日)	28.9	18.6	14.7	34.7
外来/入院比	(倍)	1.6	2.0	1.7	1.8
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.8	0.8	0.8	0.6
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.2	1.5	1.4	1.1
患者1人1日当り入院収益	(千円)	31.9	37.9	52.8	30.7
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	30.7	37.0	51.3	29.9
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	10.8	12.0	12.7	12.6
医師1人当り入院患者数	(人)	6.4	5.9	3.9	7.7
医師1人当り外来患者数	(人)	10.0	11.4	6.8	13.6
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.3	1.2	0.9	1.3
看護師1人当り外来患者数	(人)	1.9	2.2	1.6	2.3
職員1人当り入院患者数	(人)	0.6	0.6	0.5	0.6
職員1人当り外来患者数	(人)	1.0	1.2	0.9	1.0
1日当り救急患者数	(人)	11.5	23.8	58.3	16.5
1床当り救急患者数	(人)	14.2	25.3	38.3	11.9
1日当り救急搬送患者数	(人)	1.8	5.6	13.4	3.9
救急患者入院率	(%)	10.4	13.5	16.4	16.4

図表102 救急体制別比較・ケアミックス病院（医療法人立病院）

	(病院数)	ケアミックス病院			
		医療法人			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
(平均病床数)	(45)	(103)	(0)	(70)	
		(134.7)	(184.1)	-	(157.2)
収益性					
医業利益率	(%)	2.6	1.5	-	4.1
総資本医業利益率	(%)	2.4	1.7	-	4.1
経常利益率	(%)	3.3	2.0	-	3.8
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	6.8	6.3	-	8.0
病床利用率	(%)	89.1	82.5	-	89.8
固定費比率	(%)	66.5	65.3	-	67.1
材料費比率	(%)	15.1	17.9	-	13.1
医薬品比率	(%)	9.0	10.5	-	8.0
人件費比率	(%)	58.1	55.4	-	58.8
委託費比率	(%)	5.6	5.6	-	5.8
設備関係費比率	(%)	7.2	8.4	-	7.0
減価償却費比率	(%)	4.2	4.9	-	3.9
経費比率	(%)	10.0	10.0	-	9.5
金利負担率	(%)	1.2	1.4	-	1.3
総資本回転率	(%)	100.6	96.0	-	112.5
固定資産回転率	(%)	192.9	174.2	-	202.5
医師人件費比率計	(%)	11.0	11.5	-	10.8
常勤医師人件費比率	(%)	7.6	7.5	-	7.7
非常勤医師人件費比率	(%)	3.5	4.1	-	3.1
看護師人件費比率計	(%)	20.0	18.2	-	18.6
常勤看護師人件費比率	(%)	19.0	17.3	-	17.6
非常勤看護師人件費比率	(%)	1.1	0.9	-	1.1
その他職員人件費比率計	(%)	17.0	16.5	-	18.8
常勤その他職員人件費比率	(%)	16.2	15.8	-	17.6
非常勤その他職員人件費比率	(%)	0.9	0.7	-	1.2
常勤医師1人当り人件費	(千円)	15,028	15,562	-	14,376
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	4,624	4,901	-	4,371
職員1人当り人件費	(千円)	5,281	5,733	-	5,225
職員1人当り医業収益	(千円)	9,139	10,512	-	9,039
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	9,954	11,780	-	9,576
(参考)変動比率	(%)	16.4	19.5	-	14.2
安全性					
自己資本比率	(%)	35.9	32.1	-	33.4
固定長期適合率	(%)	85.9	90.1	-	81.4
借入金比率	(%)	47.0	56.2	-	45.3
償還期間	(年)	10.3	11.7	-	10.0
流動比率	(%)	833.5	359.9	-	627.0
1床当り固定資産額	(千円)	8,110	10,101	-	7,176
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	8.6	8.3	-	9.0
機能性					
平均在院日数	(日)	111.2	60.5	-	145.1
外来/入院比	(倍)	1.1	1.5	-	0.9
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.9	0.8	-	0.9
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.0	1.1	-	0.8
患者1人1日当り入院収益	(千円)	21.9	28.5	-	21.1
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	21.5	27.8	-	20.7
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	7.0	9.4	-	8.0
医師1人当り入院患者数	(人)	13.4	11.0	-	16.1
医師1人当り外来患者数	(人)	13.2	12.8	-	10.0
看護師1人当り入院患者数	(人)	2.0	1.9	-	2.3
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.1	2.4	-	1.7
職員1人当り入院患者数	(人)	0.8	0.8	-	0.9
職員1人当り外来患者数	(人)	0.9	1.0	-	0.7
1日当り救急患者数	(人)	2.4	6.4	-	0.9
1床当り救急患者数	(人)	5.8	13.4	-	3.0
1日当り救急搬送患者数	(人)	0.3	1.7	-	0.1
救急患者入院率	(%)	10.2	11.1	-	12.3

図表103 救急体制別比較・ケアミックス病院（自治体病院）

	(病院数)	ケアミックス病院			
		自治体			
		初期救急 (27)	二次救急 (56)	三次救急 (3)	その他 病院 (4)
(平均病床数)	(100.1)	(200.2)	(697.7)	(125.8)	
収益性					
医業利益率	(%)	-20.1	-12.2	-9.3	-39.3
総資本医業利益率	(%)	-13.4	-9.0	-3.8	-24.2
経常利益率	(%)	-5.5	-7.0	-5.1	-16.8
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-13.8	-7.7	-1.7	-36.7
病床利用率	(%)	74.0	72.0	75.2	63.0
固定費比率	(%)	89.1	80.0	68.5	98.8
材料費比率	(%)	20.4	21.9	30.3	20.5
医薬品比率	(%)	14.3	14.2	17.9	14.5
人件費比率	(%)	82.9	68.8	56.0	92.2
委託費比率	(%)	11.8	9.2	6.0	17.4
設備関係費比率	(%)	9.5	8.9	9.6	14.7
減価償却費比率	(%)	8.7	7.1	7.6	8.8
経費比率	(%)	10.4	8.0	5.2	11.1
金利負担率	(%)	4.5	3.6	2.9	6.3
総資本回転率	(%)	71.0	86.8	47.8	54.3
固定資産回転率	(%)	96.6	91.1	77.5	123.8
医師人件費比率計	(%)	17.8	13.7	12.6	16.3
常勤医師人件費比率	(%)	12.8	10.7	10.4	13.5
非常勤医師人件費比率	(%)	5.0	3.0	2.1	2.8
看護師人件費比率計	(%)	28.2	25.4	18.7	36.1
常勤看護師人件費比率	(%)	26.8	23.9	18.1	33.8
非常勤看護師人件費比率	(%)	1.4	1.6	0.6	2.3
その他職員人件費比率計	(%)	23.4	16.5	13.7	21.5
常勤その他職員人件費比率	(%)	20.1	14.2	13.1	19.8
非常勤その他職員人件費比率	(%)	3.3	2.3	0.5	1.7
常勤医師1人当り人件費	(千円)	19,778	17,452	12,871	17,912
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	5,175	5,463	5,171	5,444
職員1人当り人件費	(千円)	6,857	7,459	6,810	7,631
職員1人当り医業収益	(千円)	9,022	11,296	12,486	8,490
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	11,968	12,964	20,289	10,501
(参考)変動比率	(%)	21.5	23.3	31.6	22.0
安全性					
自己資本比率	(%)	67.6	74.1	72.0	92.5
固定長期適合率	(%)	84.8	101.7	73.0	69.6
借入金比率	(%)	26.5	21.6	87.6	0.0
償還期間	(年)	5.4	4.5	0.0	0.0
流動比率	(%)	624.5	530.9	605.9	902.0
1床当り固定資産額	(千円)	15,601	45,292	27,690	16,465
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	4.8	2.5	5.4	4.0
機能性					
平均在院日数	(日)	57.2	34.2	20.4	56.9
外来/入院比	(倍)	1.9	1.8	2.0	1.6
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.7	0.7	0.8	0.6
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.3	1.3	1.6	0.9
患者1人1日当り入院収益	(千円)	18.5	24.5	37.9	17.9
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	18.2	24.2	37.1	17.8
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	7.7	9.5	10.8	8.6
医師1人当り入院患者数	(人)	10.3	9.6	5.2	11.6
医師1人当り外来患者数	(人)	17.3	16.7	10.1	14.6
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.6	1.5	1.0	1.6
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.8	2.6	2.2	2.4
職員1人当り入院患者数	(人)	0.7	0.8	0.5	0.8
職員1人当り外来患者数	(人)	1.3	1.3	1.1	1.2
1日当り救急患者数	(人)	4.0	10.1	71.8	1.1
1床当り救急患者数	(人)	16.0	18.2	33.3	7.3
1日当り救急搬送患者数	(人)	0.5	1.6	10.0	0.1
救急患者入院率	(%)	6.2	11.6	10.8	18.2

図表104 救急体制別比較・ケアミックス病院（社会保険関係団体病院）

	(病院数)	ケアミックス病院 社会保険関係団体			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他 病院
		(0)	(1)	(0)	(1)
	(平均病床数)	-	(115.0)	-	(44.0)
収益性					
医業利益率	(%)	-	-4.8	-	-9.5
総資本医業利益率	(%)	-	-5.6	-	-2.6
経常利益率	(%)	-	-4.0	-	4.4
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-	4.4	-	7.6
病床利用率	(%)	-	93.3	-	63.5
固定費比率	(%)	-	72.2	-	87.2
材料費比率	(%)	-	15.7	-	10.7
医薬品比率	(%)	-	9.1	-	7.3
人件費比率	(%)	-	63.1	-	67.4
委託費比率	(%)	-	7.2	-	5.6
設備関係費比率	(%)	-	9.1	-	19.8
減価償却費比率	(%)	-	9.1	-	17.1
経費比率	(%)	-	9.1	-	5.2
金利負担率	(%)	-	0.0	-	0.0
総資本回転率	(%)	-	116.7	-	27.7
固定資産回転率	(%)	-	285.3	-	30.9
医師人件費比率計	(%)	-	9.6	-	12.8
常勤医師人件費比率	(%)	-	3.5	-	8.3
非常勤医師人件費比率	(%)	-	6.2	-	4.4
看護師人件費比率計	(%)	-	21.5	-	21.5
常勤看護師人件費比率	(%)	-	15.5	-	14.6
非常勤看護師人件費比率	(%)	-	6.0	-	6.8
その他職員人件費比率計	(%)	-	20.4	-	24.6
常勤その他職員人件費比率	(%)	-	15.9	-	16.1
非常勤その他職員人件費比率	(%)	-	4.5	-	8.6
常勤医師1人当り人件費	(千円)	-	13,801	-	15,975
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	-	4,050	-	6,004
職員1人当り人件費	(千円)	-	5,769	-	5,869
職員1人当り医業収益	(千円)	-	9,148	-	8,711
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	-	11,025	-	14,454
(参考)変動比率	(%)	-	16.2	-	12.4
安全性					
自己資本比率	(%)	-	15.8	-	90.8
固定長期適合率	(%)	-	46.2	-	90.8
借入金比率	(%)	-	0.0	-	0.0
償還期間	(年)	-	0.0	-	0.0
流動比率	(%)	-	513.1	-	916.1
1床当り固定資産額	(千円)	-	3,656	-	42,252
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	-	5.1	-	21.5
機能性					
平均在院日数	(日)	-	60.3	-	22.8
外来/入院比	(倍)	-	1.2	-	3.8
1床当り1日平均入院患者数	(人)	-	0.9	-	0.6
1床当り1日平均外来患者数	(人)	-	1.1	-	2.4
患者1人1日当り入院収益	(千円)	-	18.6	-	22.3
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	-	18.1	-	21.2
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	-	6.2	-	6.3
医師1人当り入院患者数	(人)	-	17.3	-	6.1
医師1人当り外来患者数	(人)	-	20.0	-	23.0
看護師1人当り入院患者数	(人)	-	1.9	-	1.2
看護師1人当り外来患者数	(人)	-	2.1	-	4.4
職員1人当り入院患者数	(人)	-	0.8	-	0.4
職員1人当り外来患者数	(人)	-	0.9	-	1.6
1日当り救急患者数	(人)	-	6.7	-	0.6
1床当り救急患者数	(人)	-	21.3	-	4.9
1日当り救急搬送患者数	(人)	-	0.7	-	0.2
救急患者入院率	(%)	-	7.1	-	0.0

図表105 救急体制別比較・ケアミックス病院（その他公的病院）

	(病院数)	ケアミックス病院			
		その他公的			
		初期救急	二次救急	三次救急	その他病院
(平均病床数)	(8)	(20)	(0)	(5)	
		(93.4)	(244.4)	-	(106.8)
収益性					
医業利益率	(%)	-20.2	-0.7	-	-7.8
総資本医業利益率	(%)	-15.6	-0.3	-	-8.4
経常利益率	(%)	-4.0	0.0	-	-5.1
償却前医業利益率(補正指標)	(%)	-15.3	4.7	-	-2.9
病床利用率	(%)	76.2	76.6	-	84.0
固定費比率	(%)	80.0	61.6	-	73.3
材料費比率	(%)	22.5	27.0	-	17.8
医薬品比率	(%)	17.8	19.7	-	13.7
人件費比率	(%)	71.7	53.4	-	64.6
委託費比率	(%)	9.4	5.3	-	8.1
設備関係費比率	(%)	7.6	7.6	-	7.6
減価償却費比率	(%)	4.9	5.4	-	4.9
経費比率	(%)	7.9	5.7	-	8.6
金利負担率	(%)	0.7	0.6	-	1.1
総資本回転率	(%)	69.6	89.8	-	82.2
固定資産回転率	(%)	343.9	159.6	-	81.9
医師人件費比率計	(%)	15.1	11.9	-	10.2
常勤医師人件費比率	(%)	9.4	9.3	-	8.2
非常勤医師人件費比率	(%)	5.7	2.6	-	2.0
看護師人件費比率計	(%)	25.0	18.9	-	23.0
常勤看護師人件費比率	(%)	23.9	18.1	-	22.2
非常勤看護師人件費比率	(%)	1.1	0.8	-	0.8
その他職員人件費比率計	(%)	19.7	14.1	-	21.1
常勤その他職員人件費比率	(%)	14.6	13.0	-	17.8
非常勤その他職員人件費比率	(%)	5.1	1.1	-	3.3
常勤医師1人当り人件費	(千円)	21,553	16,056	-	19,369
常勤看護師1人当り人件費	(千円)	5,111	4,875	-	4,801
職員1人当り人件費	(千円)	6,592	6,735	-	5,720
職員1人当り医業収益	(千円)	9,376	12,870	-	9,028
1床当り損益分岐点医業収益	(千円)	11,519	14,739	-	8,278
(参考)変動比率	(%)	24.7	28.2	-	19.3
安全性					
自己資本比率	(%)	24.7	2.3	-	9.2
固定長期適合率	(%)	65.3	95.1	-	90.5
借入金比率	(%)	61.1	38.0	-	57.4
償還期間	(年)	2.7	3.3	-	6.5
流動比率	(%)	554.8	205.6	-	143.5
1床当り固定資産額	(千円)	9,011	11,501	-	10,241
償却金利前経常利益率(補正指標)	(%)	1.6	6.0	-	0.8
機能性					
平均在院日数	(日)	50.0	30.4	-	161.7
外来/入院比	(倍)	1.4	1.8	-	0.6
1床当り1日平均入院患者数	(人)	0.8	0.8	-	0.8
1床当り1日平均外来患者数	(人)	1.0	1.3	-	0.5
患者1人1日当り入院収益	(千円)	19.8	30.7	-	17.4
患者1人1日当り入院収益(室料差額除)	(千円)	19.6	30.1	-	17.2
外来患者1人1日当り外来収益	(千円)	8.5	11.1	-	11.2
医師1人当り入院患者数	(人)	12.6	8.3	-	18.8
医師1人当り外来患者数	(人)	16.4	13.3	-	10.4
看護師1人当り入院患者数	(人)	1.7	1.4	-	2.4
看護師1人当り外来患者数	(人)	2.2	2.3	-	1.3
職員1人当り入院患者数	(人)	0.8	0.7	-	1.0
職員1人当り外来患者数	(人)	1.0	1.2	-	0.6
1日当り救急患者数	(人)	3.1	11.2	-	1.0
1床当り救急患者数	(人)	11.8	15.9	-	4.9
1日当り救急搬送患者数	(人)	0.3	1.9	-	0.1
救急患者入院率	(%)	6.3	10.7	-	7.6

(2) 入院経路と経営状況

本項では、有効回答施設 1402 施設のうち、患者数に関する設問への回答状況により抽出した¹⁴543 施設を対象に、入院経路に関する集計を補論として行った。

1) 新入院患者の入院経路別割合

図表 106 は新入院患者の入院経路を、救急入院¹⁵、紹介入院¹⁶、その他の3区分で捉えた場合の経路別内訳をみたものである。病院種別計では、救急によるものが20.0%、紹介によるものが18.0%であった。病院種別にみると一般病院とケアミックス病院では2割前後が救急で、療養型病院や精神科病院より救急による入院の割合が高い。療養型病院は、紹介が28.6%と高く、救急が9.3%と少なかった。精神科病院では、救急が8.6%と少なく、その他が70.3%と、他の病院種より高かった。

図表106 新入院患者の入院経路別内訳（全開設者）

入院経路	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院	計
救急入院	21.8%	19.9%	9.3%	8.6%	20.0%
紹介入院	17.5%	17.1%	28.6%	21.1%	18.0%
その他	60.8%	63.0%	62.2%	70.3%	62.0%

¹⁴ 在院患者延数, 新入院患者数, (新入院患者数のうち) 診療時間外の患者数, (新入院患者数のうち) 救急車で搬送された患者数, (新入院患者数のうち) 紹介入院患者数, 退院患者数, 外来患者延数, (外来患者延数のうち) 診療時間外の患者数, (外来患者延数のうち) 救急車で搬送された患者数, 初診患者数, 紹介患者数, 逆紹介患者数の全設問に1以上の回答があり、かつ、紹介入院患者数が紹介患者数を上回らない施設、救急搬送数計が時間外の救急搬送数を上回らない施設。

¹⁵ 救急により入院した患者数は、「新入院患者のうち診療時間外の患者数」を用いており、診療時間内に緊急入院した患者の数は含んでいない。

¹⁶ 紹介入院患者数は、「新入院患者のうち、概ね1ヶ月以内に、他の医療機関からの紹介状を持参して来院した患者数」と定義して記入を求めた。

新入院患者における救急入院の割合について病床規模別にみると、一般病院では20床以上49床以下でやや割合が低い。ケアミックス病院では、300床以上399床以下で、目立って高い。精神科病院では、200床以上299床以下で若干高い。

図表107 新入院患者における救急入院の割合・病床規模別（全開設者）

病床規模	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
20床以上49床以下	15.4%	25.0%	14.8%	7.8%
50床以上99床以下	20.5%	16.9%	7.3%	
100床以上199床以下	22.5%	19.7%	3.7%	
200床以上299床以下	21.0%	18.8%	—	10.8%
300床以上399床以下	22.1%	28.6%	—	5.1%
400床以上	22.9%	21.1%	—	8.6%

※網がけは、サンプル数が5以下。

新入院患者における紹介入院の割合について病床規模別にみると、一般病院およびケアミックス病院では50床以上99床以下病院で、若干低い。

図表108 新入院患者における紹介入院の割合・病床規模別（全開設者）

病床規模	一般病院	ケアミックス病院	療養型病院	精神科病院
20床以上49床以下	18.6%	9.2%	37.6%	27.4%
50床以上99床以下	11.9%	13.7%	24.2%	
100床以上199床以下	18.6%	18.7%	31.4%	
200床以上299床以下	18.9%	16.9%	—	19.1%
300床以上399床以下	17.6%	15.9%	—	14.0%
400床以上	17.7%	18.4%	—	22.1%

※網がけは、サンプル数が5以下。

2) 新入院患者と経営指標

「4. 黒字赤字比較に基づく経営改善の方向性」(P.33) でみたとおり、赤字病院の収益基盤の特徴として、病床利用率が低いことが把握され、在院日数の短縮が進む中、新入院患者増が重要な課題として分析された。そこで、新入院患者増に向けた示唆を得るため、新入院患者の多寡¹⁷により病院を2群に分け、入院経路に関する関連指標を設定し、比較を行った。

図表 109 は、一般病院についての比較である。新入院患者の多い群では、病床利用率が 81.1% と高い。また、入院経路関連指標についてみると、新入院患者の多い群の特徴としては、1 日当り救急患者数、1 床当り救急患者数、1 床当り紹介患者数が多く、救急患者入院率（救急患者のうち入院する患者の割合）が高い。これに対して、新入院患者の少ない群の特徴としては、1 日当り救急患者数、1 床当り救急患者数、1 床当り紹介患者数が少なく、紹介患者入院率（紹介患者のうち入院する患者の割合）が高い。入院患者に占める経路別割合（救急入院率、紹介入院率、救急・紹介入院率）については、両者でほとんど差はみられない。

図表109 新入院患者数と入院経路に関する指標（全開設者・一般病院, n=350）

区分	新入院患者多	新入院患者少	差(多-少)
1日当り救急患者数(人)	34.0	15.2	18.8
1床当り救急患者数(人)	32.2	22.8	9.4
1床当り紹介患者数(人)	19.2	10.6	8.5
救急患者入院率	16.6%	13.7%	2.9%
紹介患者入院率	18.9%	25.0%	-6.1%
救急入院率	21.8%	21.7%	0.1%
紹介入院率	17.4%	17.5%	-0.1%
救急・紹介入院率	39.3%	39.2%	0.1%
(参考) 1床当り新入院患者数(人)	20.2	11.9	8.3
(参考) 平均在院日数(日)	15.0	24.3	-9.3
(参考) 病床利用率	81.1%	73.0%	8.1%

¹⁷ 1床当り新入院患者数の平均値により2群に区分した。

図表110 指標の計算方法

1日当り救急患者数＝救急患者数/366日

1床当り救急患者数＝救急患者数/許可病床数

1床当り紹介患者数＝紹介患者数/許可病床数

救急患者入院率＝診療時間外の患者のうち入院した患者の数/救急患者数

紹介患者入院率＝紹介患者のうち1ヶ月以内に入院した患者の数/紹介患者数

救急入院率＝診療時間外の患者のうち入院した患者の数/新入院患者数

紹介入院率＝紹介患者のうち1ヶ月以内に入院した患者の数/新入院患者数

救急・紹介入院率＝（診療時間外の患者のうち入院した患者の数＋紹介患者のうち
1ヶ月以内に入院した患者の数）/新入院患者数

（参考）1床当り新入院患者数＝新入院患者数/許可病床数

(3) 今後の指標改定に向けた考察

1) 集患機能に関する経営指標

「4. 黒字赤字比較に基づく経営改善の方向性」でみたとおり、赤字病院の収益基盤の特徴として病床利用率が低く、病床利用率の管理が、病院経営安定化に向けて、極めて重要な課題であると指摘できよう。在院日数の短縮が進む中、病床利用率を維持・向上するために、各医療機関においては、従来どおりの集患機能の継続だけでは十分ではなく、取り組みの妥当性を検証しながら、より効果的な方法を実践していく必要がある。

そこで新規患者の確保に直接的にターゲットをあてた「1床当り新入院患者数」を指標として導入することを検討する。データ収集については、平均在院日数算出のために新入院患者数を収集していることから、回答者の負担を増やさずに結果を得ることが可能である。

また、本調査結果より、一般病院について「1床当り新入院患者」の多寡で2群に分けて、入院経路に関する指標を比較したところ、新入院の多い群では、「1日当り救急患者数」、「1床当り救急患者数」および「1床当り紹介患者数」の指標が高いことがわかった。このことから、救急患者数や紹介患者数が、新入院患者の先行指標（原因指標）となり得ることが窺え、救急患者数および紹介患者数のデータを蓄積の後、新入院との因果関係を検証し、「1日当り救急患者数」、「1床当り救急患者数」、「1床当り紹介患者数」についても指標として導入することを検討すべきと考えられる。

さらに、今回の調査で、救急患者入院率、紹介患者入院率を把握した。これらの指標は、新入院患者をどのような経路で確保するか、病院が戦略形成するにあたって有効に活用できる指標であるといえよう。ただし、入院医療が必要な頻度は、診療科目により大きく差があるため、指標の活用性を高めるためには、診療科構成に配慮したデータ収集・集計を行うことが望ましい。また、紹介患者入院率の把握にあたって本調査では、「新入院患者のうち、概ね1ヶ月以内に、他の医療機関からの紹介状を持参して来院した患者数」として記入を求めたが、本項目における記入率が低かったことから、データ収集上の課題についての検討も必要である。

2) 救急の運営効率に関する経営指標

二次救急体制をとっている病院について、黒字赤字比較を行ったところ、医療法人立病院においては、「1日当り救急患者数」、「1床当り救急患者数」、「1日当り救急搬送患者数」、「救急患者入院率」いずれの指標についても赤字病院が少ない結果であった。このことから、救急医療体制をとる病院の経営改善には、救急患者の受け入れ件数を増やすことが一つの方向性であると考えられる。しかしながら、同様に自治体病院について、黒字赤字比較を行ったところ「1日当り救急患者数」、「1

床当り救急患者数」、「1日当り救急搬送患者数」、「救急患者入院率」いずれも赤字病院の方が多かった。このことから自治体病院においては救急患者受入が収益性の低下を招いているとの懸念がもたれるところであるが、本調査では、自治体病院において黒字病院の施設数が少ないことから収益性の影響までを断定することはできず、救急医療の提供に伴う運営面での効率性分析が待たれるところである。

業務量の多寡はあるにせよ、救急医療は、病院にとっての本質的使命であることから、運営効率向上のための手がかりとなる基準値（適切な要員数の目安を示唆する値）等を整備、公表することは、指標活用の観点から有用であると考えられる。しかしながら、救急部門が独立的に運営されている施設は限定的であり、多くは病棟等との連携を前提に運営されているため、収支や運営状況の把握が困難である。そこで、救急部門運営の実態調査等に基づいて、運営方法をモデル化した上で、収支や業務効率を把握する等、病院経営管理指標とは区別した調査方法についても併せて検討の余地もあろう。